

# エジプト国カイロ大学看護学部 事前調査団報告書

平成2年2月

## 国際協力事業団 医療協力部

エジプト国カイロ大学看護学部事前調査団報告書

平成2年2月

国際協力事業

405  
929  
NCF

部





JICA LIBRARY



1082600161

2177



## は じ め に

エジプト国においては医師数に比較して看護婦数が不足しており、質の高い看護技術を有する看護婦の養成が国家的課題となっている。エジプト国政府は、看護婦指導者の質及び量の向上、育成を主たる目的として、カイロ大学看護学部に対して、我が国の無償資金協力およびプロジェクト方式技術協力を要請越した。これを受けて、当事業団は、平成元年9月、要請の背景を調査し、エジプト側の実施計画、実施体制を調査し、実施可能性を検討するため、聖路加看護大学、近藤潤子教授を団長とし、無償資金協力計画調査部と合同で事前調査団を派遣した。

本報告書は同調査団の調査、協議結果をとりまとめたものである。

ここに本調査に当たられた団長をはじめ団員の方々、ならびに本県調査団派遣にご協力いただいた関係機関に深甚なる謝意を表すとともに、今後とも一層のご協力をお願いする次第である。

平成2年2月

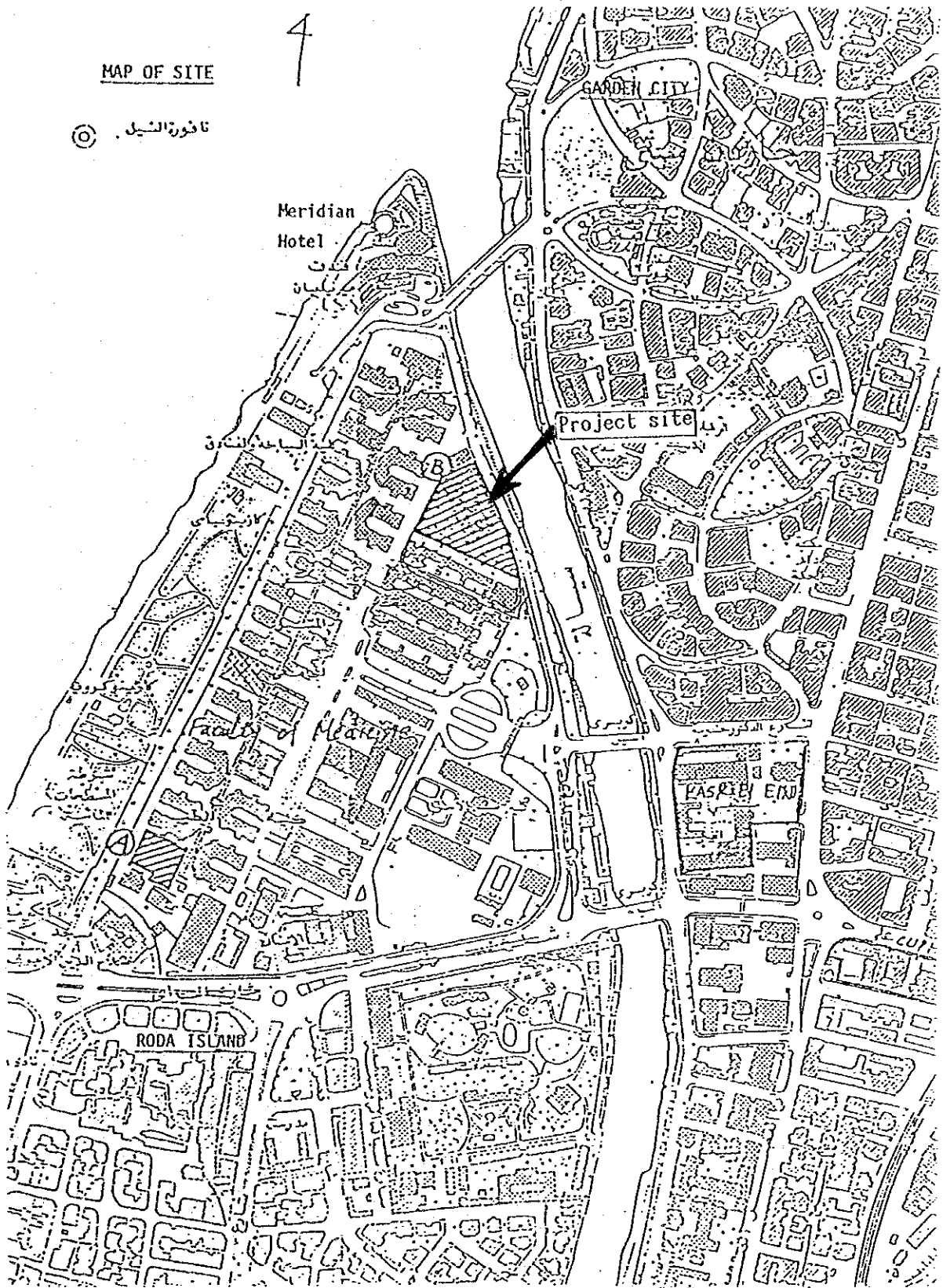
国 際 協 力 事 業 団  
理 事 西 野 世 界



MAP OF SITE



تأخيرة النيل .









カイロ大学医学部長（左から2人目）  
近藤団長、カイロ大学学長、看護学部長、  
松野団員、田中団員、岡本所員



医学部正面玄関  
（左端－立山団員、右端－中村団員）



看護学部建設予定地



医学部内教室



エジプト側関係者との協議



エジプト国カイロ大学看護婦学部・事前調査団報告書目次

序文  
地図  
写真

I. 事前調査団の派遣	1
1. 調査団派遣の経緯と目的	1
2. 調査団の構成	1
3. 主要面談者リスト	1
II. 要請の背景と内容	3
1. 要請の背景	3
2. 開発計画と現状と要請の関連	10
3. 協力分野の現状と問題点	15
4. 要請の内容	19
5. 日本の他の協力との関連	27
6. 第三国の協力概要	27
III. 調査結果	29
1. エジプト側のプロジェクト実施体制	29
1-1. 実施機関の組織（人員、予算）および事業概要	29
1-2. プロジェクトの組織および関係機関との組織関連	35
1-3. プロジェクトの人員（カウンターパート）配置計画	35
1-4. プロジェクトの予算措置	37
1-5. 政府関係機関の支援体制	37
2. プロジェクト協力の基本計画	38
2-1. 技術協力（協力部門別）	38
2-1-1. 協力の方針	38
2-1-2. 協力の範囲のおよび内容	38
（目標設定・専門家派遣計画・研修員受入計画・機材供与計画）	
2-1-3. 技術移転評価体制	39
2-2. 無償資金協力	45
2-2-1. 建設予定地の所在と概況	45
2-2-2. 無償資金協力の範囲	45
2-2-3. 施設・機材規模の検討	45

IV. 専門家の生活環境	50
1. 住宅事情	50
2. 教育事情	50
3. 治安事情	50
4. 食糧事情	50
5. 医療事情	50
6. 通信・交通事情	50
V. 協力の必要性と妥当性(まとめ)	51
1. 技術協力	51
2. 無償資金協力	51
3. 本センター設立に係る実施工程案	52
VI. 提    言	55
1. 技術協力	55
2. 基本設計調査への提言	56
付 属 資 料	61
1. 技術協力要請書	61
2. カイロ大学H I N無償資金協力要請書	78
3. 質問調査結果	95
4. Country Report on Utilization and Management of Nurses & Midwives in PHC in EGYPT	144
5. Vital statistics—Ministry of Health Egypt' 86	150
6. Development of Nursing Manpower	151
7. Decree of Regulation of Practicing Nursing Profession	156
8. Nursing Education System in Egypt	165
9. Recruitment plan of Teaching Staff & Administration Staff in Accordance with No. of student in HINC	166
10. Distribution of Census of 1/7/1988 Including 3% Emigrants, Total of Nursing staff for 1987/88. Number of Nurses per 10,000 person as of the Census excluding Emigrants in each Governorate for 1987/88.	167
11. Total Number of Nursing staff in each Governorate	168
12. Necessities of Nurse staff for the 5 years according to The Three assumptions	170

13. Year Book より "Health Service" .....	171
14. Year Book より "Education" .....	172
15. The Cairo University Hospitals .....	182
16. Declaration considering the next ten years(1989-1999) .....	213
a decade to protection and care for Egyptian children	



## I. 事前調査団の派遣

### 1. 調査団派遣の経緯と目的

エジプト国は、医師数に比較して看護婦が不足（登録数：医師 84,000人、看護婦 52,000人）しており、医療施設運営に支障を来していること、看護技術の低水準およびその養成施設の未整備等が保健行政上、解決すべき国家的課題となっており、国家開発計画の重点政策の一つとして掲げられている。

かかる背景のもとに、我が国は同国に対し、公衆衛生看護を主体とした看護教育研究プロジェクト（1978年～1983年）およびカイロ大学小児病院プロジェクト（1983年～1989年）での臨床看護の技術移転を通じ、看護婦の人材養成協力事業を実施してきた。

エジプト側はこれらのプロジェクトを高く評価し、看護教育における指導者の質および量の向上・育成、および周辺国に対する看護教育の指導的役割を果たすべく、カイロ大学看護部を拠点とし、我が国に対し、無償資金協力による施設建設を含め、プロジェクト方式技術協力を要請越したものである。

本調査団は本件に係るエジプト側要請内容につき、要請の背景、エジプト側の実施計画および実施体制（敷地、組織、人員、予算等）を調査し、実施の可能性につき検討することを目的として派遣された。

### 2. 調査団構成

- ・団長 近藤 潤子 聖路加看護大学 教授
- ・団員 松野かおる 埼玉医科大学短期大学 看護学科長
- ・団員 立山 恭子 元エジプト・カイロ大学小児病院プロジェクト  
リネター
- ・団員 森口 育子 静岡県沼津保健所三島支所
- ・団員 中村 欣功 JICA無償資金協力計画調査部・基本設計第1課課長代理
- ・団員 田中 良子 JICA医療協力部医療協力課

### 3. 調査日程

月 日 (曜)	行 程
9/1 (金)	東京 → アムステルダム (KL 862)
2 (土)	アムステルダム → カイロ (KL 561)
3 (日)	日本大使館表敬・JICA事務所にて打合せ 国際協力省表敬 アラブ・コントラクター病院視察（近藤団長・田中団員を除く） 保健省にて打合せ（近藤団長・田中団員）





## II. 要請の背景と内容

### 1. 要請の背景

#### 1) エジプトの保健医療事情

エジプトの人口は、1950年代を境に急増しており1986年現在 5,000万人で、その44%が都市地域、56%が農村地域に住んでいる(表1)。要請のあったカイロ大学のあるカイロ市と卒業生の主な就職先のカイロ周辺は、カイロ市が605万人全人口の18%、カイロ周辺地域が1,815万人で37%を占めている(表2)。人口構成は4才以下が13.8%、14才以下が40%である。平均寿命は1984年現在男55.9才、女58.4才。

出生死亡状況は表3のとおりで、粗出生率はここ数年ほとんど変化がなく、1986年現在38.0、粗死亡率は8.5で自然増加率は29.5とほとんど減少しておらず、このまま増加が続けばエジプトの人口は25年以内に倍増するといわれている。

乳児死亡率は漸次減少しており、1986年現在44/1,000で乳児死亡の原因としては、感染症、伝染病が40%、呼吸器疾患が30%を占めている(表4)。

これらの保健問題に対してエジプトでは母子保健対策、感染症対策、農村地域の保健サービスの充実等を重点施策として努力しているが、保健医療従事者の絶対数が不足している。医師については毎年4,000~5,000人を養成し急増してきたが、看護婦は施設も充実しておらず養成数が少ないため、医師より少ない現状であり、看護婦の増強は重点施策としてとりあげられている(表5)。

#### 2) 看護婦数と就業状況

現在看護教育には、大学、短大、高校の3コースがあり、毎年約3,500人が卒業している。

看護婦資格としては、大学卒看護婦(BSc Nurse)、短大卒看護婦(Technical Nurse)、高校卒看護婦(Diploma Nurse)と旧制度のAssistant Nurse、学校看護婦(Health Visitor)の5種類がある。

エジプトにおける大学レベルの看護教育が開始されたのは、1954年、Alexandria大学看護部においてであり、現在、大学の看護学部は6校である。

これら看護婦の公的機関(病院、ヘルスセンター、学校等)への配置は保健省が行っている。大部分の卒業生は居住地の近くの医療機関に配置されている。

1987年現在看護婦の就業数は50,299人で、高校のDiploma Nurseが38,132人と76%を占め要請のある大卒の看護婦は580人と約1%にすぎない。

就業先別に見ると、保健省関係が37,143人74%と最も多く、次に大学病院が6,729人13.4%と多い。大学卒の看護婦は少数ながら保健省関係へ39%、大学病院に28%と病院の婦長や看護教育に従事し、エジプトの看護行政、教育業務における指導的役割を果たし、また国際機関の指導者、看護学者として顕著な活動を行っている。(表6)

表1 都市・農村地域別の人口の年次推移

NO. URBAN/RURAL POPULATION, BY SEX AND CENSUS YEAR

(Excluding nomadic population for 1887-1947 censuses; excluding persons abroad and in the occupied zone of Sinai in 1976; including population in the border Governorates for the 1966, 1976 and 1986 censuses.)

Census Year	Urban/ Rural Resident	Total		Male	Female	Males Per 100 Females
		Number	Percent			
1882	Total...	6712	--	3345	3367	99.3
1897	Total...	9669	--	4914	4755	103.3
1907	Total...	11190	100.0	5617	5573	100.8
	Urban...	1930	17.2	1001	929	107.8
	Rural...	9260	82.8	4616	4644	99.4
1917	Total...	12718	--	6369	6349	100.3
1927	Total...	14178	100.0	7058	7120	99.1
	Urban...	3810	26.9	1966	1844	106.6
	Rural...	10368	73.1	5092	5276	96.5
1937	Total...	15921	100.0	7967	7954	100.2
	Urban...	4492	28.2	2289	2203	103.9
	Rural...	11429	71.8	5678	5751	98.7
1947	Total...	18967	100.0	9392	9575	98.1
	Urban...	6363	33.5	3219	3144	102.4
	Rural...	12604	66.5	6173	6431	96.0
1960	Total...	25984	100.0	13068	12916	101.2
	Urban...	9864	38.0	5021	4843	103.7
	Rural...	16120	62.0	8047	8073	99.7
1966	Total...	30077	100.0	15176	14901	101.8
	Urban...	12033	40.0	6132	5901	103.9
	Rural...	17692	58.8	8861	8831	100.3
	Frontier Gov....	352	1.2	183	169	108.3
1976	Total...	36627	100.0	18648	17979	103.7
	Urban...	16037	43.8	8228	7809	105.4
	Rural...	20590	56.2	10420	10170	102.5
1986*	Total...	48205	100.0	24655	23550	104.7
	Urban...	21174	43.9	10878	10296	105.7
	Rural...	27031	56.1	13777	13254	103.9

(\*) Source preliminary results of the population housing and establishments Census 1986 and excluding Egyptians living aboard.

Statistical Yearbook 1988 より抜粋

表2 カイロ周辺地域の人口

GREATER CAIRO POPULATION IN METROPOLITAN  
AND REGIONAL AREAS.

City/Markaz	Population	
	1986	1976
Cairo City.....	6052836	5074016
Giza City.....	1870508	1230446
Markaz El-Giza.....	127789	94169
Shobra El-Khiema City.....	710794	394223
<hr/>		
Metropolitan Area..(1).....	8761927	6792854
<hr/>		
Badra-Shein City.....	40159	26992
Hawamdia City.....	73060	48030
Markaz El-Saff.....	47292	32367
Shbein El-Kanater City..(2).	35519	25505
Markaz El-Khanka.....	251645	154572
Markaz Kalioub	272172	184432
Markaz El-Kanater El-Khairia..(3).....	218546	145726
Markaz Shbein El-Kanater....	53540	39802
<hr/>		
Regional Area.....	9753860	7450280

(1) Part of regional area.

(2) Including some villages only.

(3) Including some villages only.

Statistical Yearbook 1988 より抜粋

表3 人口動態

VITAL STATISTICS

MINISTRY OF HEALTH - EGYPT-1986

1. POPULATION

1986: 50,000,000  
 [25,500,000 Females]  
 [24,500,000 Males]  
  
 [43,800,000 Urban] (146 urban centers)  
 [56,200,000 Rural] (4066 villages)

2. DEVELOPMENT OF VITAL STATISTICS FOR 1000 OF POPULATION

Y E A R	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986
Birth Rate	37.5	36.8	36.2	37.6	38.6	37.5	38.0
Death Rate	10.0	10.0	10.0	10.0	9.4	9.1	8.5
Normal Increase Rate	27.5	26.8	26.2	27.6	29.2	28.4	29.5
Neonatal Death Rate	76.0	70.0	70.0	65.7	61.2	55.7	44.1
Maternal Mortality Rate	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.0
Marriage Rate	9.4	9.4	10.3	10.5	9.9	9.1	0.0

3. LIFE EXPECTANCY

1984	1980	1947
55.9	54.1	41.4 Males
58.4	56.8	47.0 Females

表4 原因別死亡率(1982)

	男 子		女 子		計		乳 児	
	死亡数	%	死亡数	%	死亡数	%	死亡数	%
感染症・伝染病	37,632	16.3	37,562	17.8	75,194	17.0	45,606	40.4
がん	5,191	2.3	3,270	1.6	8,461	1.9	74	0.1
内分泌腺疾患	1,843	0.8	2,062	1.0	3,905	0.9	343	0.3
血液・血清疾患	1,016	0.4	528	0.2	1,544	0.4	84	0.1
脳疾患	65	-	38	-	103	-	12	-
神経系疾患	2,808	1.2	2,016	1.0	4,824	1.1	528	0.5
循環器系疾患	44,908	19.5	38,080	18.0	82,988	18.8	2,587	2.3
呼吸器系疾患	41,772	18.1	41,534	19.7	83,306	18.9	34,868	30.9
消化器系疾患	18,607	8.1	14,293	6.8	32,900	7.5	11,515	10.2
泌尿器系疾患	7,606	3.3	4,184	2.0	11,790	2.7	182	0.2
異常妊娠・出産・産褥熱	-	-	1,258	0.6	1,258	0.3	-	-
皮膚疾患	45	-	28	-	73	-	16	-
骨・筋肉疾患	90	-	110	-	200	0.1	30	-
遺伝性奇形	2,414	1.0	2,224	1.1	4,638	1.0	3,950	3.5
死産	6,283	2.7	5,480	2.6	11,713	2.7	11,713	10.4
死因不明	48,453	21.0	52,150	24.7	100,603	22.8	986	0.9
事故・毒物	11,853	5.1	6,268	3.0	18,121	4.1	379	0.3
計	230,586	100.1	211,035	100.0	441,621	100.0	112,873	100.0

出 所: CAPMAS, Vital Statistics 1982(アラビア語)

エジプト人口家族計画基礎調査報告書より

表 5 医師と看護婦の養成数の年次比較

All these policies require that nursing among the other professions be upgraded and well trained to meet with the demands of the country. There is a serious gap between the number of physicians enrolling in Egyptian Universities and the number of highly qualified nurses, i.e. B.Sc.N., as shown below for the past five years:

Students	School Year			Percent of changes 83/84- 87/88
	85/86	86/87	87/88	
Medical	30027	29138	27013	- 14.4
Nursing	1742	2295	2353	85.9

Ref. Central agency for Public Mobilisation and Statistics

If we consider now the number of graduates in each discipline we find the following for the past five years:

Students	School Year			Percent of changes 83/84-87/88
	85/86	86/87	87/88	
Medical	5047	4569	4086	- 21.3
Nursing	248	293	324	95.2

表 6 看護職種別就業状況

Health Care Professionals working in the Different Sectors  
of the A.R.E for the Year 1987

Sector	Number of Beds	H.I.N.	Technical Nurse	Diploma Nurse*	Assistant Nurse	Health Visitor	Total
Ministry of Health	6517 57208	226	120	23 268	6 803	3626	37 143
University Hospitals	157 13041	160	12	6 314	540	1	6 729
Teaching Organization	4048	35	70	1 619	85	23	1 832
Curative Organization	4061	107	36	1 463	155	-	1 781
Health Insurance	2533	23	47	1 640	244	-	1 966
External Organizations	2377	29	26	696	34	-	785
Total	83267	580	311	38 132	7 626	3650	50 299

\* This category includes nurses with five years of study, 3 years of studies, speciality nurses, male nurses, and nuns.

11.9  
1.5 Bed/nurse  
73.8%  
13.4  
1.9  
2.2  
2.3  
1.3  
3.0

## 2. 開発計画の現状と要請の関連

### 1) 第2次開発5ヶ年計画における保健医療計画

第2次開発5ヶ年計画(1987/88～1991/92)ではヘルスケア、健康保険、薬品の供給と風土病の制圧を目標に保健医療施設の整備と保健医療関係者の養成を重点施策としている。

1987/88年の保健医療施設、保健医療関係者の充足計画は資料7に示すとおりで看護婦は4,000人の増員が見込まれている。

### 2) 保健医療施策

現在エジプトでは質の高い保健医療を提供することと保健医療システムの各レベルに必要とされる保健医療従事者の増加に努めている。

そして全ての国民に質の高い保健医療を保障するために次のような目標を掲げている。

- ① 農村地域への保健医療の拡大と感染症予防の特別対策の推進
- ② 農村・都市地域へ無料の保健医療サービスの拡大
- ③ 母子福祉センターの設置
- ④ 全ての国民に公立病院において低額で医療を提供する。これらの病院におけるベット数は、最近著しく増加している。
- ⑤ 公的治療機関を設けていることにより、国民を民間の医療サービスの搾取から守る。
- ⑥ 必要とされるレベルの技術を有する人材を供給するために十分に設備の整った養成施設を設置する。

以上の施策を遂行していくには質の高い看護婦が必要とされ、従って看護婦教育の質を向上させることが必須となろう。

### 3) 看護施策

エジプトではWHOが提唱しているように“西暦2000年までにすべての国民に健康を”を目標として看護職の向上をめざしている。

そのため病院や教育機関、特にプライマリヘルスケア分野で働く看護職の卒前卒後の教育の質的向上に努力している。その内容としては次のようなものがあげられる。

- ・プライマリヘルスケア分野の指導者の訓練
- ・母子保健
- ・家族計画
- ・栄養
- ・予防接種
- ・小児の下痢対策
- ・視聴覚機材の活用

又基礎看護教育のカリキュラムを地域志向の内容に転換しつつある。大学教育では病院と地域で個人や家族に対して看護することができる看護婦の教育を目的に次のような内容を強



化している。

- ・地域の健康問題についての知識
- ・管理、監督、教育の技術を持ったプラクティショナーの養成
- ・正常の分娩の管理
- ・人々の健康増進やケアの方法について指導できるチームリーダーとしての役割
- ・保健計画の計画、管理、実践ができる技術

4) 看護婦の需給計画

エジプトの看護婦数は表7に示すとおり、1988年7月1日現在50,316人で人口1万人対10の割で日本の1万対52.6に比較すると1/5である(医師は人口1万人対16.4で日本の15.6より多い)。エジプトの特長は医師数に対して看護婦数が不足していることであり、将来はこの医師対看護婦の割合を医師1対看護婦5に逆転することを考えている。

将来的に人口1万人対25を目標とし、124,128人必要で73,812人が不足している。カイロにおいては、15,445人が必要で今後6,304人を増加する必要がある。(表8)

西暦2000年までの需給計画は表9に示すとおりである。2000年に人口が6,838万人と予測した場合82,063人の看護婦が必要とされ(大卒又は短大卒の看護婦は13,677人)、それでも人口1万人対12.0の割にすぎない。(表9)

このような結果を基にエジプトでは医師の養成を減少し看護婦の養成の増加に努力している。(表10)

表7 : Anticipated Major Health Care Accomplishments in 1987/88 Compared to 1986/87

DETAIL	BASE YEAR 1986/87	EXPECTED 1987/88	GROWTH
BEDS	96700	99400	2700
GENERAL CENTRAL HOSPITALS	190	194	4
BEDS-GENERAL CENTRAL HOSPITALS	26200	28000	1800
RURAL HEALTH UNITS	2082	2102	20
VILLAGE HOSPITALS	78	85	7
VILLAGE HOSPITAL BEDS	2020	2160	140
DOCTORS	77300	81100	3800
PHARMACISTS	24000	26100	2100
NURSES ( ALL LEVELS )	78000	82000	4000
DENTISTS	10500	11300	800

表 8

DISTRIBUTION OF CENSUS OF 1/7/1988 INCLUDING 3% EMEGRANTS  
TOTAL NUMBER OF NURSING STAFF FOR 1987/88  
NUMBER OF NURSES/10,000 PERSON AS OF THE CENSUS EXCLUDING  
EMEGRANTS IN EACH GOVERNORATE FOR 1987/88

Governorate	Population in thousand	3% emerg. in thousand	Population exclud. emg	Total No Nurse	Nurse /10,000	25Nurse /10,000	Need
Cairo	6369	191	6178	9141	15	15445	6304
Alexandria	3085	93	2992	4144	14	7480	3336
Port Said	424	13	411	742	18	1028	286
Suez	335	10	325	364	11	8130	449
Ismialia	583	17	566	598	11	1415	817
Damietta	804	24	780	1047	13	1950	903
Dakahilia	3735	112	3623	3689	10	9058	5369
Sharqia	3637	109	3528	3364	10	8820	5456
Kaliobia	2662	80	2582	2718	11	6455	3737
Kafr ElShik	1898	57	1841	1701	10	4603	2902
Gharbia	3026	91	2935	4893	17	7338	2445
Monofia	2365	71	2294	2333	10	5735	3402
Behira	3457	104	3353	3158	10	8383	5225
Giza	3929	118	3811	2426	6	9528	7102
Beni Suef	1537	46	1491	1445	10	3728	2283
Fayoum	1659	50	1609	1533	10	4023	2490
Menia	2841	85	2756	1678	6	6890	5212
Asiout	2365	71	2294	2866	12	5735	2869
Sohag	2595	78	2517	822	3	6293	5471
Kena	2420	73	2347	743	3	5868	5225
Awan	859	26	833	364	4	2083	1719
Matrouh	178	5	173	154	9	433	279
New Valley	104	3	101	179	18	253	74
Red Sea	96	3	93	121	13	233	112
North Sinai	171	5	166	176	11	415	239
South Sinai	51	2	49	17	3	123	106
<b>Total</b>	<b>51,185</b>	<b>1,537</b>	<b>49,648</b>	<b>50,316</b>	<b>10</b>	<b>12,4128</b>	

表 9

NECESSITIES OF NURSE STAFF  
FOR THE 5 YEARS ACCORDING TO  
THE THREE ASSUMPTIONS  
1980 - 2000

Assumption	1980	1985	1990	1995	2000
<u>First Assumption</u>					
Population in thousand	41208	46206	50812	54641	57516
1st class nurse	8242	9241	10165	10128	11503
2nd class nurse	41208	46206	50812	54641	57516
<b>T O T A L</b>	<b>49450</b>	<b>55447</b>	<b>60977</b>	<b>65569</b>	<b>69019</b>
<u>Second Assumption</u>					
Population in thousand	41208	46681	52206	57681	62976
1st class nurse	8242	9337	10441	11536	12596
2nd class nurse	41208	46681	52206	57681	62976
<b>T O T A L</b>	<b>49450</b>	<b>56018</b>	<b>62647</b>	<b>69217</b>	<b>75572</b>
<u>Third Assumption</u>					
Population in thousand	41208	47140	53604	60644	68386
1st class nurse	8242	9428	10721	12130	13677
2nd class nurse	41208	47140	53604	60644	68386
<b>T O T A L</b>	<b>49450</b>	<b>56568</b>	<b>64325</b>	<b>72774</b>	<b>82063</b>

3.5% excluded for being outside Egypt  
1st class nurse is High Institute + medical technical  
2nd class nurse all other categories

First Assumption

The rate of death is constant until 2000 as it has been in 1979 (12.2 per thousand) and the max. children per family is two

Second Assumption

The rate of death is as above and the max. children per family is three

Third Assumption

The rate of death is as above and the max. children per family is four

表10

NO. 9-11. NUMBER OF UNIVERSITY GRADUATES IN SCIENCES, BY FACULTY AND SCHOOL YEAR

Faculty /Sex	School Year						Percent of Change 82/83-86/87
	81/82	82/83	83/84	84/85	85/86	86/87*	
<b>Grand Total - All Faculties</b>							
Both Sexes.....	30113	30833	29971	30876	30429	29287	-5.0
Male.....	22716	22692	21751	22207	21588	21112	-7.0
Female.....	7397	8141	8220	8669	8841	8175	0.4
• <b>Faculties of Medicine</b>							
Both Sexes.....	6024	6074	5135	5105	5047	4153	-31.6
Male.....	4616	4430	3593	3325	3189	2691	-39.3
Female.....	1408	1644	1602	1780	1858	1462	-11.1
• <b>Faculties of Pharmacy</b>							
Both Sexes.....	1475	1431	1511	1450	1476	1308	-8.6
Male.....	793	709	764	772	762	649	-8.5
Female.....	682	722	747	678	714	659	-8.7
• <b>Faculties of Dentistry</b>							
Both Sexes.....	682	735	731	754	781	705	-4.1
Male.....	396	412	364	426	420	399	-3.2
Female.....	286	323	367	328	361	306	-5.3
<b>High Nursing Institute</b>							
Female.....	159	159	166	177	248	293	84.3

Statistical Yearbook 1988 より抜粋

### 3. 協力分野の現状と問題点

#### 1) 看護教育システムと看護教育機関

エジプトの看護教育システムは表11のとおりで、現在高校(3年制)のTechnical Secondary school for Nursingと短大(2年制)のTechnical Health Institute、大学の学士課程High Institute of Nursing(H I N)の3種類がある。大学には大学院も併設されている。

学校数はTechnical Secondary schoolが155校で最も多く(表12)、大学の看護学士課程は6校である。

6大学の1986/1987年の入学生数は780人で(表13)、Alexandria大学、El Zagozig大学は200人以上が入学しておりカイロ大学は94人である。

#### 2) カイロ大学看護学科の現状と問題点

カイロ大学の看護学科は1952年のアレキサンドリア大学に次いで1964年、二番目に設立された。基礎教育12年卒業後入学する学士課程(4年プラス1年のインターン)、修士課程(2~5年)、博士課程(2~6年)を有している。

現在までに約800人の卒業生を出している。

現在の学生数は1年125人、2年90人、3年85人、4年50人、インターン60人の計410人である。

教員は教授2人、助教授3人、講師23人、助手12人、実習助手10人の計50人である。

実習施設は日本が援助してきた新小児病院を含むカイロ大学附属病院の6ヶ所の他、都市農村のヘルスセンターなど10ヶ所あり今後さらに4ヶ所増える予定で他大学に比較して恵まれている。

しかし、学校の施設は当初、El Kasr El Ainyの医学部構内にあったが、学部そのものの建物は狭小で教室も充分とは言えない施設であった。大学側は卒業生数を増やす必要から施設の拡充を政府に要請してきたが、当時の施設では年間100名以上の学生を受け入れるのは困難であった。1987年にはこの施設自体もフランス政府借款による1,000床規模の教育病院を建設するために取り壊され、現在、HINCは医学部本部のある構内に移転され、講堂及び2教室の他医学部教室等を間借りしている状態にあり、早期に看護学科の建物を建設する必要がある。

又学校の設備としては、新設されている実習病院に最新の医療機器が設置されているので、それらに対応できる質の高い教育を提供できる設備が必要とされている。

過去の慢性看護婦不足に加えて、最近是国内での大型病院の建設ラッシュ、アラブ諸国およびアフリカ諸国からの看護生の受け入れ、またエジプト国全体としての保健福祉の改善も必要であることにより、これら要請に合致した教育が施せる施設が緊急に要する状況となっている。

表11 エジプトの看護教育システム

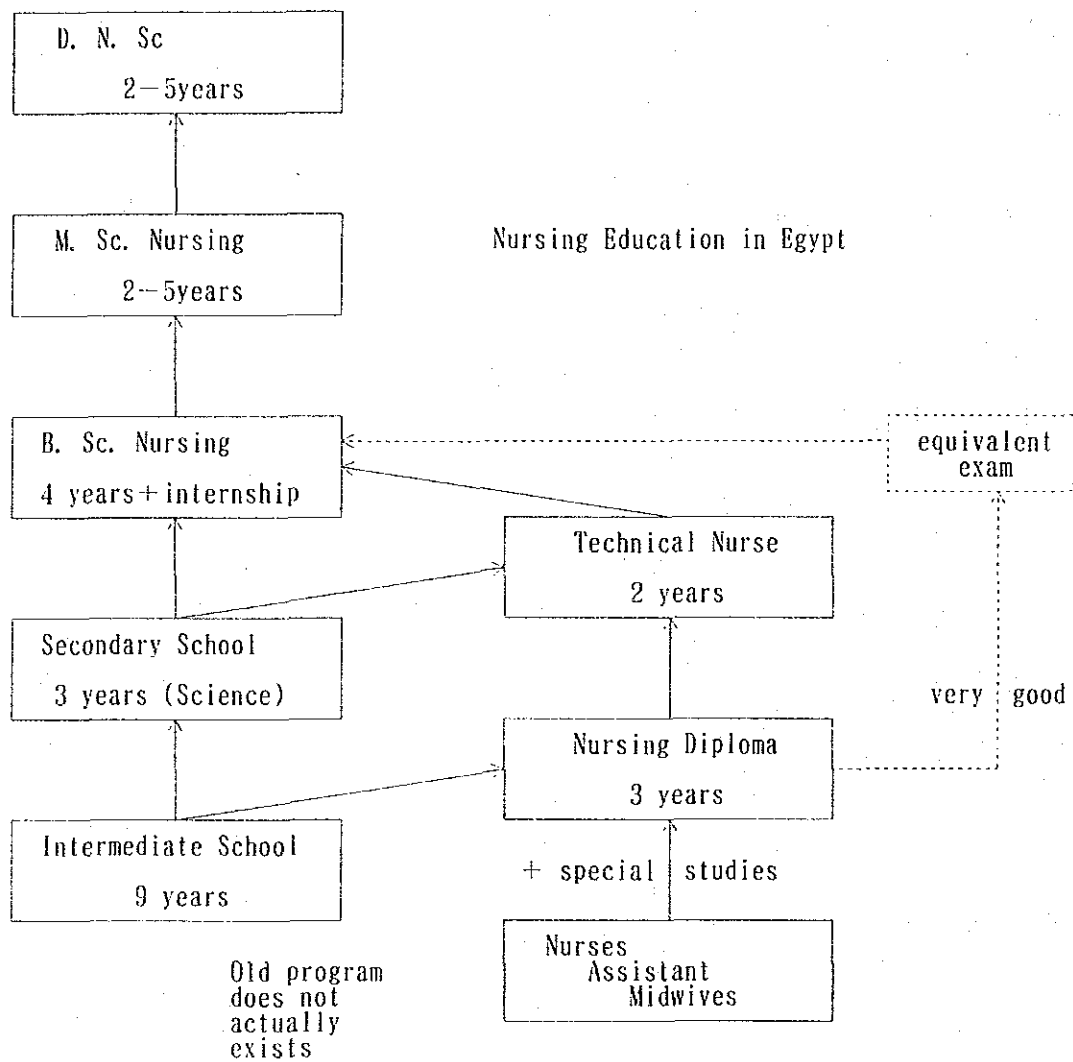


表12 エジプトの看護教育機関

Table-3 : The distribution of the Nursing Institutes and Schools in Egypt

Education System	Ministry of Health	Faculty of medicine in the University	Curing insurance	Health insurance	Army force	Educative hospital	Free	Total
High Institute of Nursing		6						6
Technical Health Institute (Nursing branch)	2							2
Technical Secondary school for Nursing	115 74.1%	14 9.0%	10 6.5%	8 5.2%	2 1.3%	4 2.6%	2 1.3%	155
Total	117	20	10	8	2	4	2	163

表13 エジプトの大学看護学科の学生数（1学年）

NUMBER OF STUDENTS IN THE HIGH INSTITUTES OF NURSING IN EGYPT

1989/1987

Name of Institute	Number of first student
Cairo	9 4
Aine shame	4 7
Alexandria	2 2 9
El Zagazig	2 4 8
Tanta	1 2 9
Assiut	3 3
TOTAL	7 8 0



#### 4. 要請の内容

前述のようなエジプトにおける看護教育の状況を改善するため、エジプト国政府はわが国政府に対して、1989年2月に無償資金協力によるカイロ大学看護学部施設建設を要請し、また、同年3月には、これに係る看護教育の技術協力を要請してきた。要請の内容は次のとおりである。

##### 1) 技術協力の要請目的

日本の技術協力の目的として次の8点を上げている。

- ① 長期にわたるエジプトと日本の教育、社会、文化の結びつきをさらに強いものとする。
- ② エジプトと日本の利益や福祉のために看護教育の知識や経験を交流する。
- ③ カイロ大学小児病院の技術協力を通して実現した医療協力関係を強化継続する。
- ④ 病院の実習指導を含んだ看護教育の教育技術とカリキュラムの改善
- ⑤ 看護教育の教員や大学院生の教育
- ⑥ 保健省の協力と日本の技術協力によりアフリカの第三国の看護リーダーに対する教育
- ⑦ 日本の経験に基づく援助により学校管理の改善
- ⑧ 教育や実習のための教育メディアや物品の強化

##### 2) 技術協力の内容

###### ① 日本の長期専門家の派遣

看護教育と臨床看護、プライマリヘルスケア、教育メディアの専門家を各1名ずつ、その内1人はチームリーダーとする。

###### ② エジプトの教員の日本での技術研修

看護教育、プライマリヘルスケア、小児看護ICU、産婦人科の各看護分野の教員各1名計4人の研修

###### ③ 学校と実習病院に対する機材供与

###### ④ 現在行われているアフリカ第三国研修を保健省、カイロ大学、日本の三者で調整

##### 3) プロジェクトの組織

プロジェクトの組織運営として、責任者と年1回の調整委員会、月1回の運営委員会を持つ事とそのメンバーについて。

##### 4) 学校、実習病院に対する教育施設設備

学校施設としては教育、管理、厚生、寮の四部門での施設を要請している。教育部門の施設としては教室、看護実習室、図書室、講堂、視聴覚室、会議室、プライマリヘルスケア実習施設等、管理部門では、専門看護別研究室、学部長室、事務室、物品管理室、倉庫等、厚生部門では、体育館、講堂、カンファレンスルーム、喫茶室等、寮は500人用の部屋と駐車場等を要請している。(表14)

機材要請は大別して①事務機器及び②各種ラボ用に分類できる。内訳については別添表15

のとおりであるが、事務所用、印刷用機材、他看護ラボ用各種ベッド他、解剖・整理部用人体模型他、物理ラボ用測定機器他、生物ラボ用顕微鏡他、及び寄生虫学ラボ用オートクレーブ他、化学ラボ用遠心分離機他、A V制作室用各種A V機器、及び学生寮ベッド他であり、ほとんどが可動式機材で占められている。機材の要請数量については特定されていない。これらの施設設備は将来 1,000人の学生に対応するためと最新の医療に対応した質の高い看護婦の養成のために必要とされる。

表14 カイロ大学看護学部施設要請

部 門	当初要請 (1989FEB)		修正要請 (1989SEP)	
	数	床面積	数	床面積
(1) 教育部門				
講 堂	2	760 m <sup>2</sup>	1	500 m <sup>2</sup>
会 議 室	2	200 m <sup>2</sup>	4	400 m <sup>2</sup>
教室 (50人用)	14	1,050 m <sup>2</sup>	2	150 m <sup>2</sup>
〃 (100人用)	2	300 m <sup>2</sup>	10	1,500 m <sup>2</sup>
〃 (30人用)	5	250 m <sup>2</sup>	4	250 m <sup>2</sup>
小教室 (12人用)	14	280 m <sup>2</sup>	15	300 m <sup>2</sup>
実 験 室	3	360 m <sup>2</sup>	4	480 m <sup>2</sup>
看護実験室	1	160 m <sup>2</sup>		
語学ラボ	1	60 m <sup>2</sup>	1	70 m <sup>2</sup>
図 書 室	1	250 m <sup>2</sup>	2	500 m <sup>2</sup>
印刷・コピー室	1	50 m <sup>2</sup>	1	100 m <sup>2</sup>
暗 室	1	20 m <sup>2</sup>	1	20 m <sup>2</sup>
コントロール室	1	20 m <sup>2</sup>		
文書保管室	1	30 m <sup>2</sup>	4	120 m <sup>2</sup>
守 衛 室	2	60 m <sup>2</sup>	4	120 m <sup>2</sup>
工 作 室	1	100 m <sup>2</sup>		
付帯施設 (廊下・階段等)		1,150 m <sup>2</sup>		(1,150)
AV制作室			1	100 m <sup>2</sup>
学生ラウンジ			1	200 m <sup>2</sup>
PHC室			1	400 m <sup>2</sup>
更 衣 室			5	500 m <sup>2</sup>
合 計		5,100 m <sup>2</sup>		6,860 m <sup>2</sup>

監 - 3

部 門	当 初 要 請		修 正 要 請	
	数	床 面 積	数	床 面 積
(2) 管理部門				
学部長室	1	70m <sup>2</sup>	1	70m <sup>2</sup>
副学部長室	2	80m <sup>2</sup>	2	80m <sup>2</sup>
看護専門科室	7	875m <sup>2</sup>	7	875m <sup>2</sup>
共 用 室	3	70m <sup>2</sup>		
学部長付事務室		105m <sup>2</sup>	1	105m <sup>2</sup>
教務課 (学部用)		100m <sup>2</sup>	1	100m <sup>2</sup>
教務課 (大学院用)		130m <sup>2</sup>	1	100m <sup>2</sup>
学 生 課		100m <sup>2</sup>	1	110m <sup>2</sup>
経 理 課		60m <sup>2</sup>	1	100m <sup>2</sup>
倉 庫		290m <sup>2</sup>	1	290m <sup>2</sup>
事 務 室		190m <sup>2</sup>	1	190m <sup>2</sup>
付帯施設		530m <sup>2</sup>		(530)m <sup>2</sup>
会 議 室			4	100m <sup>2</sup>
教官ラウンジ			1	100m <sup>2</sup>
事務職員ラウンジ			1	50m <sup>2</sup>
印 刷 室			1	50m <sup>2</sup>
守 衛 室			2	60m <sup>2</sup>
合 計		2,600m <sup>2</sup>		2,910m <sup>2</sup>

無-4

部 門	当 初 要 請		修 正 要 請	
	数	床 面 積	数	床 面 積
(3) 共用部門				
教官休憩室	1	80 m <sup>2</sup>		
学生休憩室	1	80 m <sup>2</sup>		
喫茶室	1	120 m <sup>2</sup>	1	400 m <sup>2</sup>
更衣室	1	80 m <sup>2</sup>		
来客待合室		50 m <sup>2</sup>		
汎用ホール		1,300 m <sup>2</sup>		
PHC室		200 m <sup>2</sup>		
洗濯室		80 m <sup>2</sup>		
駐車場用ワークショップ		50 m <sup>2</sup>		
礼拝室		60 m <sup>2</sup>	1	50 m <sup>2</sup>
付帯施設		600 m <sup>2</sup>		(600) m <sup>2</sup>
会議室			4	400 m <sup>2</sup>
体育館			1	1,000 m <sup>2</sup>
講堂			1	800 m <sup>2</sup>
展示ホール			1	200 m <sup>2</sup>
屋外運動場			1	1,000 m <sup>2</sup>
合 計		2,700 m <sup>2</sup>		4,450 m <sup>2</sup>

表-5

部 門	当 初 要 請		修 正 要 請	
	数	床 面 積	数	床 面 積
(4) 宿 舎				
学 生 寮	300ベッド	4,800m <sup>2</sup>	500ベッド	3,000m <sup>2</sup>
保 育 室	30ベッド	400m <sup>2</sup>		
来客用宿舎	20ベッド	300m <sup>2</sup>		
キッチン及び洗濯室			1	200m <sup>2</sup>
ラウンジ			1	400m <sup>2</sup>
駐車場（地下式）			1	5,000m <sup>2</sup>
合 計		5,500 m <sup>2</sup>		8,600m <sup>2</sup>
総 計		15,900m <sup>2</sup>		22,820m <sup>2</sup>

意-6

表15

Main Equipment necessary to HIN

1. Office

- 1) Typewriter
- 2) Electric typewriter
- 3) Electric calculator
- 4) Plain paper copier
- 5) Stencil machine
- 6) Stencil scanner
- 7) Copy machine
- 8) Transparent maker

2. Nursing Laboratory

- 1) Fowler's bed
- 2) Bedside table
- 3) Bedside chair
- 4) Sterilizer
- 5) Stretcher
- 6) Sphygmomanometer
- 7) Stethoscope
- 8) Oxygen tent
- 9) S. S. E. set
- 10) Speculum
- 11) Douch set
- 12) Undine
- 13) Doll for bathing, adult
- 14) Doll for bathing, infant
- 15) Pediatric bed
- 16) Overtable
- 17) Simon's bed
- 18) Obstetric manikin
- 19) Equipment for nursing care

3. Anatomy and Physiotomy Laboratory

- 1) CLA Training dummy
- 2) Anatomical chart in color
- 3) Sculptured skeleton
- 4) Muscular attachments
- 5) Skull with removable vertex etc.
- 6) Left section of head
- 7) Human ear, eye, arm, leg
- 8) Brain section
- 9) Flexible heart
- 10) Respiratory organ
- 11) Foetal doll
- 12) Human development set
- 13) Individual vertebra
- 14) Human pregnancy set

4. Physics Laboratory

- 1) High-form triple beam balance
- 2) Vernier calipers
- 3) Standard pressure guage
- 4) Spectometer prism

5. Biology Laboratory

- 1) Binocular microscope
- 2) Compound microscope with 4 objectives
- 3) Microscope projector

6. Miro Parasitology Laboratory

- 1) Hot air oven
- 2) Autoclave

7. Chemistry Laboratory

- 1) Chemical chart
- 2) Triple beam balance
- 3) Centrifuge
- 4) PH meter
- 5) Periodic table
- 6) Thermometer

8. Audio-Visual Aids Room

- 1) Color video taperecorder
- 2) Video Editing Machine
- 3) Video Cotrol Console
- 4) Audio Cotrol Console
- 5) 20" color monitor TV
- 6) TV camera portable
- 7) 5C-2V coaxial cable 40m×10
- 8) 35mm slide projector
- 9) Synchronization cassette recorder
- 10) 8mm sound movie projector
- 11) 16mm optical magnetic sound projector
- 12) Sound filmstrip projector
- 13) Screen, 70"×70" stand type
- 14) Overhead projector
- 15) Amplifier
- 16) Speaker
- 17) Microphone
- 18) Lighting Equipment for Studio
- 19) Equipment in Dark room

9. Dormitory

- 1) TV set
- 2) Wash basin
- 3) Refrigerator
- 4) Bed

10. Kitchen

- 1) Cabinet
- 2) Freezing box
- 3) Refrigerator
- 4) Stove
- 5) Electric kettle



## 5. 日本の他の協力との関係

我が国のエジプトにおける医療・保健協力は以下の如く実施され、現在進行中のものは2件である。

- (1) 看護教育研究プロジェクト（保健省） 技協 53. 4-56. 3-58. 3
- (2) リフトバレー熱対策計画（保健省） 無償 57. 3. 2  
殺虫剤・散布用噴霧器等供与（カイロ市）
- (3) アインシャムス大学医学部改善計画（アインシャムス大学） 無償 58. 3. 28  
放射線医療器材供与（ナセル市）
- (4) カイロ大学付属小児病院建設（カイロ大学） 無償 56. 6. 22 58. 3開院
- (5) カイロ大学付属小児病院 技協 58. 7. 1-63. 6. 30  
同上 フォローアップ 63. 7. 1-平成元年6. 30
- (6) カイロ大学付属小児病院第2期 技協 平成元年7. 1-6. 6. 30
- (7) カイロ大学付属小児病院拡充計画 無償 62.
- (8) 人口家族計画 技協 平成元年9. 19-4. 9. 18.
- (9) 薬品貯蔵センター 無償
- (10) 第三国研修・看護教育 技協 1985-1989

上記案件中、カイロ大学看護学部技術協力において直接関係してくるのは、小児看護の臨床実習のためと、第4学年度学生が精神科外来看護修得のために、又インターン生がICU、手術室看護修得のために実習している。又大学院（修士、博士課程）の学生の小児看護領域のリサーチのフィールドとなっている。

看護教育・研究プロジェクトが実施されたNursing Training Centerは（保健省、リサーチ・研究部、マンパワーデベロップメント課）においては、卒業看護婦の研修コースが設けられており、カイロ大学看護学部教授陣が主として研修指導にあたっている。

## 6. 第3国の協力概要

現在はなされていないが過去において以下の協力があった。

### (1) WHOの援助（1964-1975）

過去において設立当時、1964-65年の援助のもとに看護学士課程が医学部に併設された。

1965年9月よりsenior adviserが着任、Alexandria大学卒業生が雇用され、看護学部として医学部から独立した。WHOの援助はその後11年間続き、1975年に終了した。

援助の内容はカリキュラムの設定、教師の養成、教育材料とくに図書の充足が実施された。

### (2) ホープ・プロジェクト（HOPE-Help Oversea Everywhere -Project, None Governmental Organization, USA）との技術協力（1975-1980年）

主としてアメリカ人看護エキスパートによって技術指導が行われた。

(注) このプロジェクトは原則としてエキスパートによる技術協力を目的としており資機材  
供与は行わない。

### Ⅲ. 調査結果

#### 1. エジプト側のプロジェクト実施体制

##### 1-1. 実施機関の組織（人員・予算）および事業概要

本プロジェクトの実施機関であるカイロ大学看護学部は1964年に設立された。カイロ大学医学部の下に位置づけられており、同学部の運営委員会であるINSTITUTE'S COUNCILの委員長は常に医学部長が務めている。同学部は50名の教授陣と60名の事務系スタッフによって運営されている。教員は、講師以上は博士の学位を取得している者、臨床指導者は修士号を有していることが条件とされており、全ての教員はこの条件を満たしている。同学部には以下の7学科（7 Departments）が設置されており、カリキュラムは別紙のとおりである。

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1. 基礎看護    | 5. 地域衛生看護 |
| 2. 内科・外科看護 | 6. 精神科看護  |
| 3. 小児看護    | 7. 看護管理   |
| 4. 母子保健看護  |           |

同学部の予算はカイロ大学の予算として計上され、毎年7月末に大蔵省に要求されている。同学部は設立以来、現在までに約800名卒業生を輩出しており、1989年8月現在の学生総数は410名である。

同学部の事業概要は以下のとおりである。

- 1) 看護学部、学生の育成
- 2) 大学院 修士課程 において専門看護指導者の育成  
博士課程 において教育者、研究者の育成
- 3) 研究・リサーチ
- 4) 他教育機関への援助
  - 新設看護学部への指導援助
  - 保健省、卒業看護婦、幹部看護婦研修の指導援助
  - WHO、UNICEF及び第3国看護研修コースに対する指導援助
  - 全カイロ大学、Teacher's Training Course に対しての指導援助
  - 医学教育研修に対しての指導援助
  - アラブ諸国に対してのWHOエキスパートとしての支援援助

☒ 1 Organization of the High Institute of Nursing in Cairo University

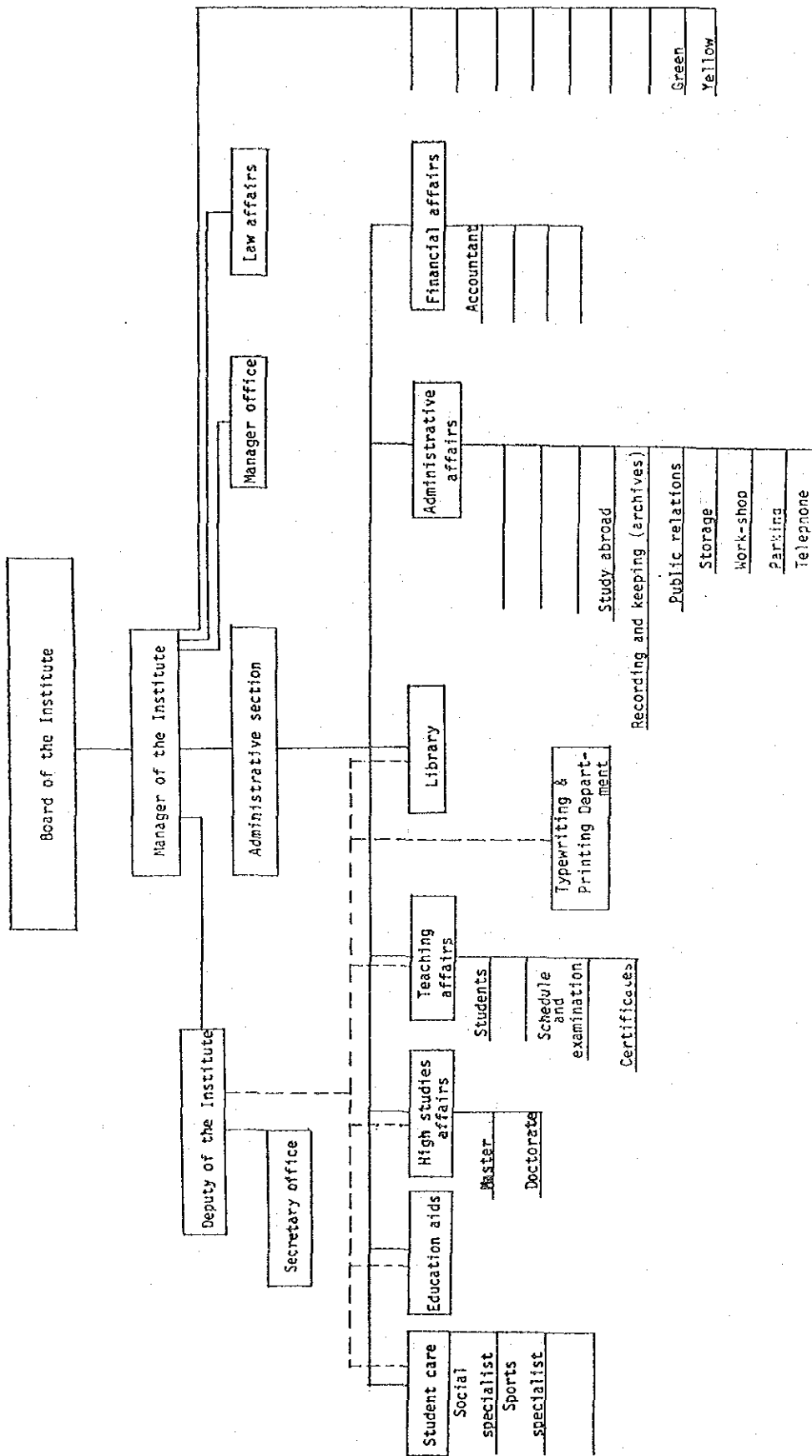




表16 Curriculum for student (First Year to Fourth Year)

<u>First Year</u>	Theory	Video, Labo	Hospital
English Language	168		
General Psychology	24		
Sociology	24		
Anatomy	36		
Physiology	36		
Bacteriology	24		
Parasitology	24		
Pathology	24		
Introduction to Nursing	144	250	62
	504	250	62
<u>Second Year</u>			
English Language	60		
Nutrition & Biochemistry	30		
Anthropology	30		
Pharmacology	30		
Educational Psychology	30		
Medicine	30		
General Surgery	30		
Surgical Specialities 10 hours for each of oph., orthop. & chest	30		
Medical-Surgical Nursing including 10 hours of ENT & 6 Hours of Dental Nursing	60	135	135
Medical-Surgical Nursing including 10 hrs of applied nutrition & 20 hrs of applied pharmacology & 20 hrs of Diagnostic tests and X-rays	90	135	135
	420	270	270

<u>Third Year</u>	Theory	Video, Labo	Hospital
English Language	60		
Developmental Psychology	30		
Sociology	30		
Medical and Surgical Pediatrics	30		
Obst. and Gynec. Medicine	30		
Applied Nutrition	30		
Health Education	30		
Methods of Teaching	30		
Basic Stastitis	30		
Pediatric Nursing	60	60	210
Maternal and Infant Care Nursing	60	60	210
	420	120	420

<u>Fourth Year</u>			
English Language	60		
Public Health Administration	30		
Psychiatric Medicine	30		
Nursing Service Administration	60		
Epidemiology	30		
Methods of Research in Nursing	30		
Human Relation	30		
Preparation of In-Service Training Programmes	30		
Community Health Nursing including 10 hours of applied nutrition	60	30	240
Mental Health Nursing	60	30	240
	420	60	480

## Hospitals for nursing educational training

- (main)
- \* Manial University Hospital (3000 beds)
    - Gynecology Hospital
    - East Hospital
    - West Hospital
  - \* Medical Units Old Kasr-El-Ainy Hospital (100 beds)
  - \* Abou El Rish Paediatric Hospital (100 beds)
  - \* New Japanese Paediatric Hospital (305 beds)
  - \* Cencer Institute (250 beds)
  - \* El Salam International Hospital (private)
- 

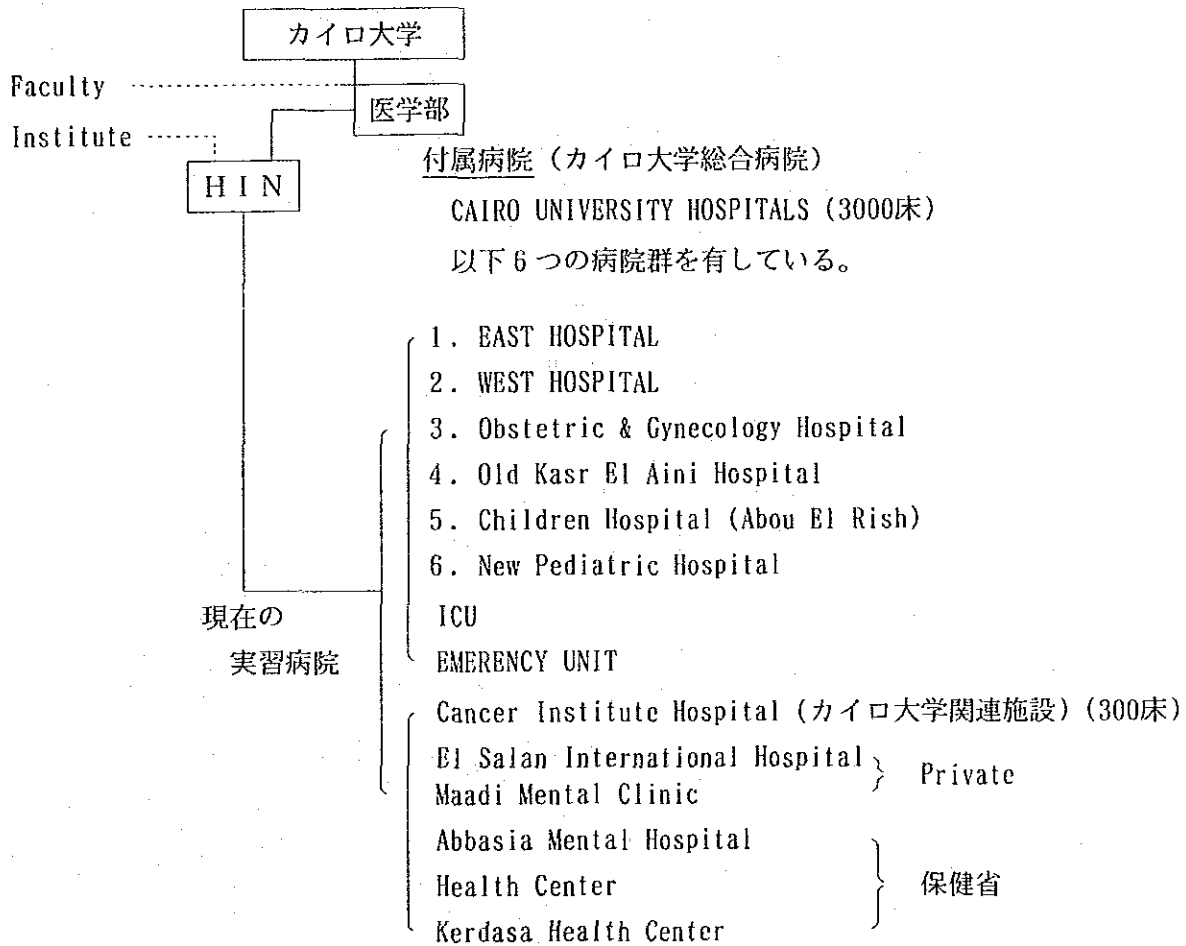
- (sud)
- \* Maadi Mental Clinic
  - \* Abbasia Mental Hospital
  - \* MOH Health Center (urban)
  - \* Kerdasa Health Center (rural)
- 

- (near future)
- \* Kasr El Ainy Teaching Hospital (1000 beds)
  - \* Center for Social Preventive Medicine
  - \* Cancer Institute Hospital (400 beds)
  - \* Nasr Institute Hospital
  - \* Red Crescent Hospital (Ramsis)



1-2. プロジェクトの組織および関係機関との組織関連

カイロ大学は高等教育省の傘下にあるが、医学部、看護学部に関しては保健省とのつながりが強く、特に国家としての看護婦の養成・供給については保健省が司っている。カイロ大学看護学部は同大学医学部が有する6つの付属病院を実習病院として使用しているほか、以下の各病院にも実習を依頼している。



今後、学生の増加に伴い予定されている実習病院は次のとおりである。

- Kosr GL Aini Teaching Hospital (medical, sargical, 1,000床)
- Center for Social Preventive Medicine (カイロ大学)
- Nasser Institute Hospital (1,000床) (保健省 教育病院)
- Red Crescent Hospital (エジプト赤十字)

1-3. プロジェクトの人員 (カウンターパート) 配置計画

カイロ大学側との協議の結果、ミニッツにあるとおり、Coordinating Committeeが設置されることとなった。また、本プロジェクトの実施に当たっては上述の7学科の長である教授陣がカウンターパートとして配置されることとなる。

Chairman of High Institute of Nursing — Dean of the Faculty of Medicine  
Prof. Dr. Khaeli Samura M.D.

PROJECT DIRECTOR:

Director of the Institute of Nursing — Dr. Iman Muraud Ph.D  
Vice Director of the IIN — Dr. Chaharizad Gaze Ph.D

カウンターパート : Nilufer Rasahed Chafin Ph.D Assistant Professor  
看護学総論 (以下11名)  
Hoda Zaki Khalil Ph.D Assistant Professor  
内科・外科看護 (以下10名)  
Mirret Darwish Ph.D Lecturer  
(Neemat M. Ali) (以下6名)  
小児看護  
Saneya M. Rizk Ph.D Lecturer  
地域看護 (以下7名)  
Enayat A. Wahab Ph.D Lecturer  
精神科看護 (以下8名)  
Laila Abdou Ph.D Assistant Professor  
看護管理 (以下6名)

★全教員中、以下の者が看護教育研究・小児病院プロジェクトのカウンターパートとして  
日本での研修を終了している。

Eman Muraud	Ph. D	地域看護学部長 看護教育プロジェクト 視察1週間
Aisha Awad	Ph. D	看護管理 小児病院プロジェクト 3ヶ月 1984年 小児病院開設準備委員及び看護部コン サルタントとして現在にいたる。
Mirret Darwish	Ph. D	小児看護 小児病院プロジェクト 3ヶ月 1985年 当初より小児病院で小児看護指導を実 施中
Saneya M. Rizk	Ph. D	地域看護 第3回看護研修コース参加 1988年

尚、カウンターパート増員計画については表17を参照のこと。

表17 RECRUITMENT PLAN OF TEACHING STAFF & ADMINISTRATION  
STAFF IN ACCORDANCE WITH NO. STUDENT IN HINC, 1984

	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
1st year Admission	200	200	200	200	200	200	200
Total Admission	380	550	690	810	930	980	1030
Expected Graduates Per Year	30 89/90	60 90/91	80 91/92	80 92/93	150 93/94	150 94/95	95/96
Teaching staff	50	51	60	65	70	75	80
Employees & Workers	60	65	65	70	75	75	80

#### 1-4. プロジェクトの予算措置

本計画の実施に伴う先方側の予算措置については、計画省から5ヶ年計画(1987/88-1991/92)の中で非居住建築物の費目で既に5百万エジプト・ポンド(約3億円)が承認されている。

同費目予算は本計画の実施に必要な全項目をカバーすることができる。その内訳としてはプロジェクトサイトに現存する建築物の取り壊し工事費(450千ポンド、基盤部分掘削工事費(230千ポンド)が1989/90年予算として組み込まれている。また本計画の工事関連人件費(30千ポンド)、銀行手数料(160千ポンド)、インフラ整備費(55千ポンド)が1990/91-92年予算で充当される予定である。更に施設完成後の本計画の維持運営管理費については年間510千ポンドを見込んでおり、この予算は次期5ヶ年計画の中で計上される予定である。

予算内訳の明細は別添資料Aの通りである。

#### 1-5. 政府関係機関の支援体制

支援体制にある政府機関として高等教育省、大蔵省、保健省、社会福祉省などが上げられる。昨今、エジプト政府の保健医療政策に則り、カイロ大学当局、保健省看護部を質、量ともに強化する方策が取られている。

## 2. プロジェクト協力の基本計画

### 2-1. 技術協力

#### 2-1-1. 協力の方針

カイロ大学看護学部の機能の向上を図り、エジプトの医療に必要とされている質の高い看護婦を養成することにより、エジプトの公衆衛生、社会福祉に貢献することを目的とする。

#### 2-1-2. 協力の範囲および内容

##### ・目標設定

- 1) 看護教育に従事する教師、看護婦の教育訓練を行う。
- 2) 看護教育における教育法、カリキュラム、教材の改善を図る。
- 3) 看護教育のシステム全体にプライマリヘルスケアの概念を取り入れ実施する。

##### ・協力の内容

専門家派遣、研修員受入、機材供与を次の分野において行う。

- 1) 看護教育
- 2) プライマリヘルスケア
- 3) 小児看護
- 4) 母性看護
- 5) 教材開発

具体的に必要と思われる専門家、研修員受入の人数および期間は以下のとおりである。

技術移転の方法としては、同学部が既にカリキュラムを確立していることから、これらを尊重しつつ、各学科の現行のカリキュラム、教案、教授法の再検討を通じ、同学部の看護教育の質の向上を図ることとなる。

#### (長期専門家)

チームリーダー

5年 1名

調整員

5年 1名

看護学総論

3年 1～2名

3ヶ月×2回 2人

内科外科看護

3年 1～2名

3ヶ月×2回 2人

母性看護

3年 1～2名

3ヶ月×2回 2人

小児看護

3年 1～2名

3ヶ月×2回 2人

プライマリヘルスケア看護

5年 1～2名

精神科看護

2～3年 1～2名

3ヶ月×2回 2人

#### (短期専門家)

カウンターパート

看護教育	1名
看護学総論	1名
内科外科看護	2名
母性看護	3名
小児看護	2名
精神科看護	2名
プライマリーヘルスケア	2名
看護管理	1名
ICU	2名 (小児、成人)
CCU	1名

### 2-1-3. 技術移転評価体制

本プロジェクトの技術移転の評価については各学科ごとに、看護教育関係者より実施されるべきであるが、具体的な指針は今後、専門家の検討に付されることとなろう。

別添 A

DEANS OFFICE

Mr. Keiji Jimura  
Resident Representative of Japan International  
Cooperation Agency (JICA), Cairo, A. R. E.  
8, El Saad El Alay Str., Dokki, Giza

Dear Sir,

Re : Submittal of our Budgetary program for High Institute of Nursing (HINS)

In connection with the preliminary survey meeting on HINS project hold in the President's office of Cairo University on Sept., 6, 1989 and your requirement to secure the Egyptian budget to implement this project, we would like to confirm with you that the Ministry of Planning has already secured five million Egyptian Pounds under the heading of "Non - Residential builings" in its Five Year Plan (1987/88 to 1991/92).

For the year 1989/90, two millon Egyptian Pounds (1988/89 LE 1 million + 1989/90 LE 2 million ) are presently allocated. (Arabic copy is enclosed.)

The title "Non-Residential builings" covers the whole items required in the Egyptian budget for HINS project including demolition of the old building in the site(LE 450,000), removal of obstacles down to ground level - 2.0m (LE 230,000)to be covered in 1989/90 budget.

The salaries of the project staff (LE 30,000), commission of Authorization to Pay to banks (LE 160,000) and the infrastructure connection works (LE 55,000)needed during construction from Nov., 1990 to Mar., 1993 will be covered from the budget of 1990/91 to 1991/92.

The budget to operate HINS is estimated to be LE 510,000 per annum and it will be allocated in the scheme of next 5 year plan.

Enclosed is the preliminary breakdown of the Egyptian budget & operation costs.

I would like to take this opportunity to draw your attention to the discussion made in the preliminary survey meeting in Sept., 6, 1989.

We requested to include underground parking for 500 cars, dormitory for 500 nurses, a cafeteria, medical library, museum, etc. in the scope of the Grant Aid project.

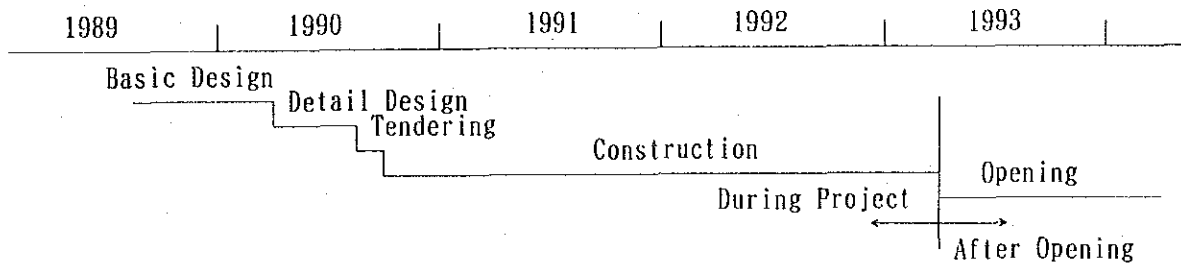
In principle, you have agreed to realize our requests in the items of General Service Section. If you would send this letter together with reference to Japanese Preliminary Survey Team headed by Prof. Junko Kondo, we would appreciate it.

Budgetary Program for HIN project

1. Budget from Egyptian Five-Year Plan (1987/88 – 1991/92)

HIN is keeping 5,000,000 LE in the above five years as shown in the attached table.

2. Schedule of the Project:



3. Supposed Budget from Egyptian Side:

3-1. During Project (except the existing operation cost of HIN)

1) Demolition of old building in the Site		450,000 LE
2) Removal of obstacles up to GL-2.0m		230,000 LE
3) Additional salary for the project staff		30,000 LE
4) Commission of the payment to Bank		160,000 LE
5) Infrastructure (connection work)		
-Electricity	40,000 LE	
-City water	8,000 LE	55,000 LE
-Sewage	5,000 LE	
-Telephone	2,000 LE	
		Total 925,000 LE

3-2. After opening (1993) (LE per year)

1) Running cost (Operation & Maintenance)

a) Operation

-Electricity	18,000 LE	
-City water	2,300 LE	
-Gas	1,500 LE	35,000 LE
-Telephone	3,700 LE	
-Oil	9,000 LE	

b) Maintenance

		10,000 LE
2) Salary of staff of HIN		450,000 LE
3) Purchase of stationery, consumable, etc.		15,000 LE

Total 510,000 LE







(DRAFT)

TENTATIVE IMPLEMENTAL SCHEDULE  
FOR CAIRO UNIVERSITY HIGH INSTITUTE PROJECT

## GENERAL

YEAR ( EGYPTIAN FISCAL ) ( YEAR July - June )	July						
JAPANESE FISCAL YEAR	April						
COUNER PART TRAINING IN JAPAN	Nursing Education (看護教育) Primary Health Care Nursing (プライマリー ヘルスケア看護) Child Care Nursing (小児看護)	Maternal Care Nursing (母性看護) Fundamental Nursing (看護総論) Medical & Surgical Nursing (内科・外科看護) (成人看護)	Psychiatry Nursing (精神科看護) Nursing Administration (看護管理) Primary Health Care N (プライマリー ヘルスケア看護)	Maternal Care Nursing (母性看護) Fundamental Nursing (看護総論) Medical & Surgical Nursing (内科・外科看護) (成人看護)	Psychiatry Nursing (精神科看護) Maternal & Child Care N (母性看護) Pediaiatric Nursi- ng (小児看護)	ICU N. ICU 小児 ICU N. ICU 成人  CCU 成人	C/P 期間 3カ月~1ヶ年
JAPANESE EXPERTS							
1) Team Leader(=NURSING EXOERT)							長期専門家 1 常時7~8名
2) Coordinator							短期専門家 1 10~15名
3) Audiovisual Technician							1 10~15名
4) Fundamental Nursing (1~2)				3M	3M — 3M	3M — 3M	1~2 機材メンテ
5) Medeical & Surgical Nursing (1~2)							4~5 3~4名
6) Maternal Care Nursing (1~2)	3M 3M	3M 3M					3~4 調査団
7) Child Care Nursing (1~2)							1~2 5~6名
8) Primary Care Nursing (1~2)							4~5
9) Psychiatry Nursing (1~2)		3M	3M				15~20
WORKSHOP — NURSING EDUCATION (3~4)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	15~20
NURSING ADMINISTRATION (3~4)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
Equipment Maintenance Team	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
MISSION PRELIMINARY SURVEY TEAM 1989 IMPLEMENTATION SURVEY TEAM 1990		Planning & Consultati- on Team	Repair & Adjustment Team	Advisory Team	Evaluation Team		
EQUIPMENT	¥50,000,000	¥50,000,000	¥50,000,000	¥50,000,000	¥50,000,000	50,000,000	
GRANT AID							
Team of Cooperation JOINT COMMITTEE	☆	☆	☆	☆	☆	☆	



## 2-2. 無償資金協力

### 2-2-1. 建設予定地の概況

本計画の建設予定地はカイロ大学医学部構内の一角に位置し、敷地面積は約 6,700㎡を持つ五角形状の敷地である。

現在同敷地には5階建看護婦寮があるが建物は相当老朽化しており、現在の入居者は大学院及びインターン生約80名となっている。

看護学部の学生は市内他所にある医学部の寮に約10名入居しているにすぎない。

現在の寮は本計画が実施される場合エジプト側により取壊し、整地される予定である。同敷地の南側は外科病棟との間にゴミ捨て場及び駐車場兼通路があるが、この部分の利用も場合によっては可能となる旨先方側から説明があった。

電気、上下水道等のインフラ整備状況については、同敷地が医学部本部構内という立地条件からすでにこれらは完備されている。

敷地位置図は、図3、図4、図5のとおりである。

### 2-2-2. 無償資金協力の範囲

エジプト側の養成は次のとおり施設・機材において大別できるが、わが国の無償資金協力の対象としては①教育部門 ②管理部門 ③共用部門 ④学生寮の優先順位で以って対応を今後考えていく旨で先方関係者の了解をとりつけている。また、実習病院用機材については技協部門との調整の上対応すべきと考える。

### 2-2-3. 施設・機材規模の検討

本計画の原案時は総床面積約 9,000㎡（学生寮含まず）正式要請書（1989年2月）では約15,000㎡、今回事前調査時（1989年9月）には約18,000㎡から約22,800㎡へと膨大な施設規模へと要請が変化している。

一方、機材については今次調査では詳細に協議がなされないままであり、特に先方側からの修正はなかった。

HINCの現在の施設状況は医学部内で教室2ヶ所および講堂1ヶ所を所有するにすぎず、他必要施設は医学部から借用している。本計画の施設規模は受け入れ学生数によりほぼ自動的にその適正規模が算出されるであろうが、計画人数約1,000名は現状の約400名の2.5倍規模となる。また、学生数1,000名規模とした場合、同規模のアレキサンドリア大学看護学部では教官数160名、事務職員約150名を有する一方、HINCは現在教官数約50名、事務職員60名の体制であることにより、アレキサンドリア大学と同程度教育スタッフ、事務職員とするには約3倍増となる。

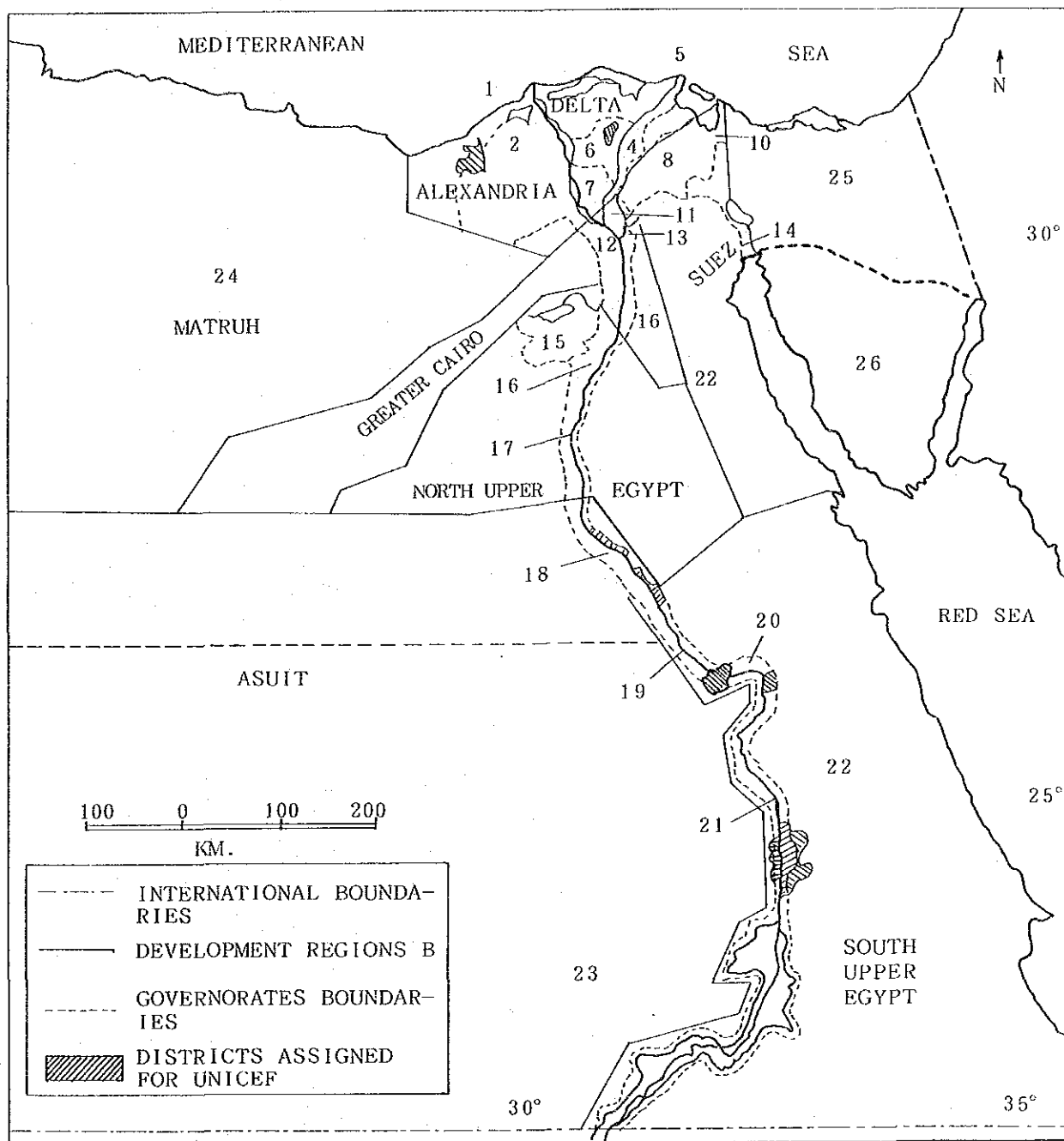
今次先方から提示された計画では学生数1,000名規模とした場合、教官数80名及び事務

職員80名と予定しており、アレキサンドリア大学看護学部との比較上運営体制側に格差がありすぎ、実際にはこれらの人数はアレキサンドリア大学看護学部の数値に近づけざるを得ないのではと考える。また、教育の基本理念として100/クラスのごときマスプロ教育は可能な限り避けていこうとしているところもあり、教官にしてもアレキサンドリア大学看護学部では7教室に対して本計画では小教室を含め要請ベースでは34教室となっている事によりアレキサンドリア大学を相当上廻る教官数が必要になると推察できる。

このことは人件費等を含め維持運営管理費に膨大な負担を先方側に余儀なくさせる結果にもなりかねない。

先方側との協議及び議事録においては学生数 1,000名規模の施設運営に要する人員、予算措置は可能としているが、160名程度の教官・事務職員で施設を効果・効率的に活用しようと考えている節もあるため基本設計調査時には特にこの点を詳細調査・解析の上無償資金協力の範囲および施設規模を検討されたい。機材については、HINCの施設そのものに対してはほとんどが可動式小型機材を中心としており、カリキュラム及び技協プロジェクトとの関連で不都合がない限り、現要請には今後の数量の詰め以外は問題ないものとする。しかし、実習病院に対する機材要請については今次調査で実習病院先となっていたArab Contractors Hospital が視察の結果、すでに実習先病院から外れているのが判明した例もあるように各病院との関係を充分調査する必要がある。また、これらの病院に対する機材供与は治療用と教育用との区分不明確となる恐れがあるため、無償資金協力の対象とするのは不相当とおもわれる。従って、この機材供与については柔軟的対応がより可能な技協プロジェクトの機材供与で対応すべきと考える。

图 3



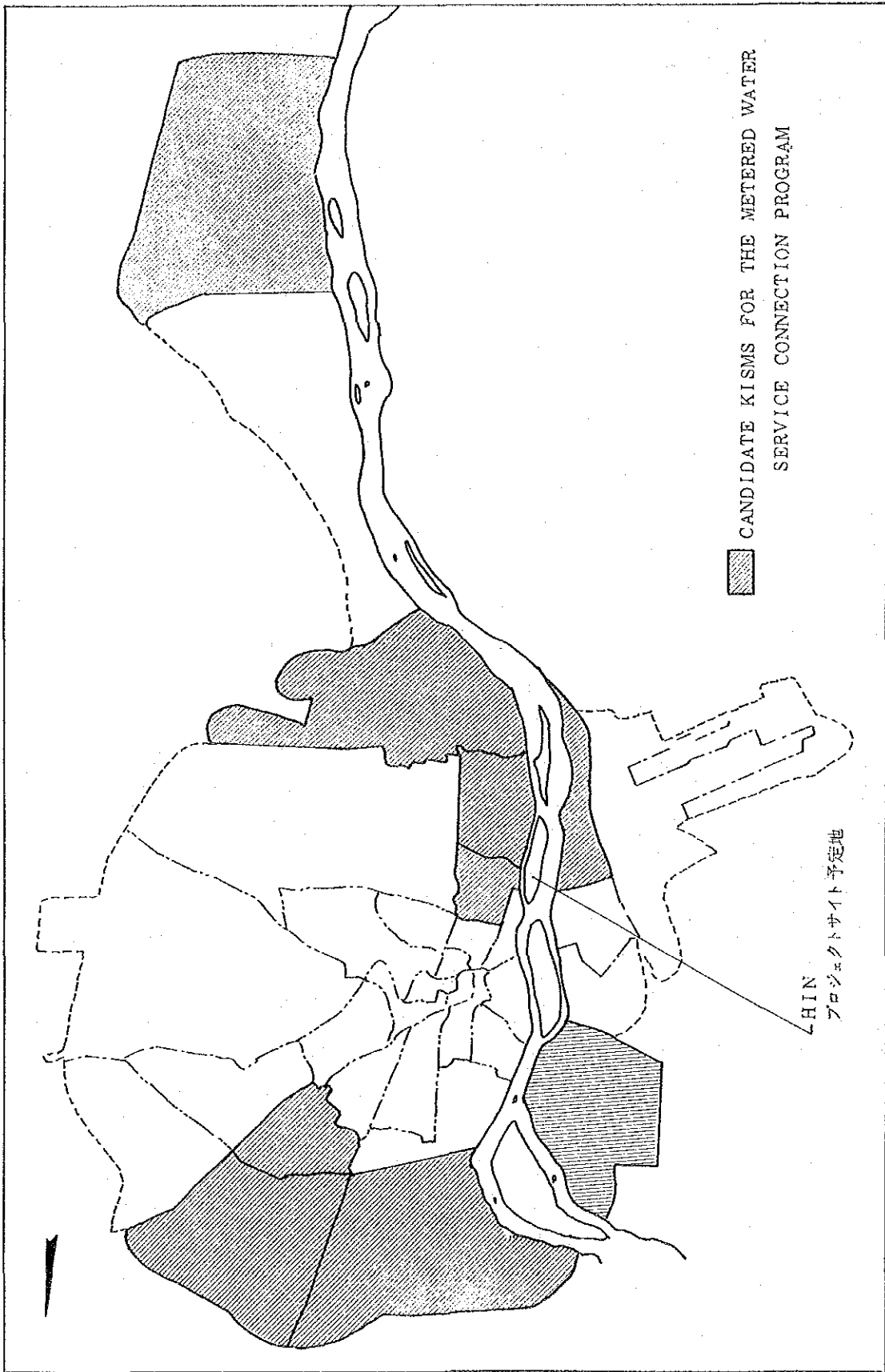
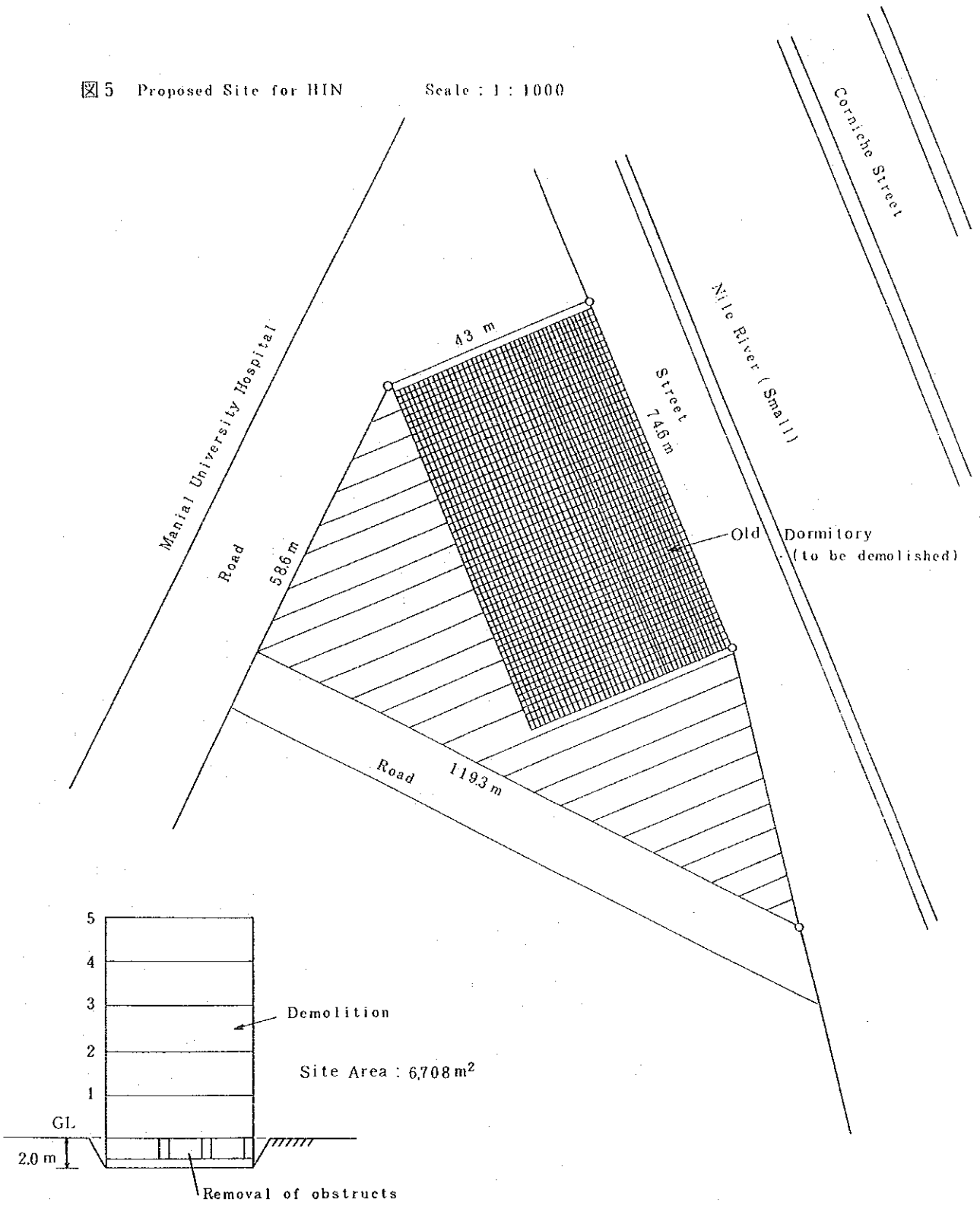


Fig 5 Proposed Site for HIN

Scale : 1 : 1000





## IV. 専門家の生活環境

### 1. 住宅事情

カイロの外人用の住宅事情はここ数年随分と改善され適当な住宅が得られる。賃貸料も住居手当での範囲内で調達できる。またプロジェクトサイトまで徒歩通勤可能な地域に住宅は得られる。

### 2. 教育事情

日本人学校が都心より約10km、車で20～30分のところにある。

### 3. 治安事情

カイロ市内は治安状態は概ね良好である。ときに盗難事件はあるが、外国人に関する傷害事件はほとんどない。

### 4. 食糧事情

日本食は入手しにくいだが、昨今スーパーマーケットが開店が続き、一般の食糧入手には苦勞しない。

### 5. 医療事情

プライベートクリニック、私立病院、において一般的水準のケアは受けられる。入院施設も充実してきている。

### 6. 通信・交通事情

電話状況は大変良くなってきている。交通事情については、公共の交通機関、特にバスについては混雑のため利用は難しい。

従って車があると便利である。車購入は現地で新車、中古とも購入可能である。

運転免許証は国際免許証から書換えが可能である。

## V. 協力の必要性和妥当性

### 1. 技術協力

- (1) 看護マンパワーの増強は国の重要施策の1つにとり上げられており、1980年の49,450人から2000年までに、82,063人と増員が計画されている。
- (2) 大学当局としても医師要請数を減じ、看護学生を増員する方針がたてられており、これによって予算措置も検討される由である。
- (3) カイロ大学看護学部は教育施設、設備には問題があるが、カイロ大学看護学部の教員によるカイロ小児病院のアフリカ看護研修員に対する教育指導、JICA・エジプト共催による第3国研修に有力な指導者の派遣を派遣している等の実績を有している。また中近東地域、アフリカ諸国からの看護学生を受入れや看護技術交流もされはじめている。特にアラブ諸国では看護大学の新設ラッシュのため、そこで働く看護マンパワーの要請にも大きな期待がよせられている。
- (4) H I Nの背景はカイロ大学小児病院の技協と類似する点が多いので、その運営は小児病院のプロジェクトより、容易であり成果が期待できるものと思われる。

### 2. 無償資金協力

現在エジプト政府から要請されている本計画での看護学部学生数 1,000名の数的妥当性及びそれに伴う施設適正規模については今後の基本設計調査により詳細に調査した上で結論を出すべきと考えるが、本計画は基本的には次の諸点から我が国の無償資金援助案件として妥当であると考えられる。

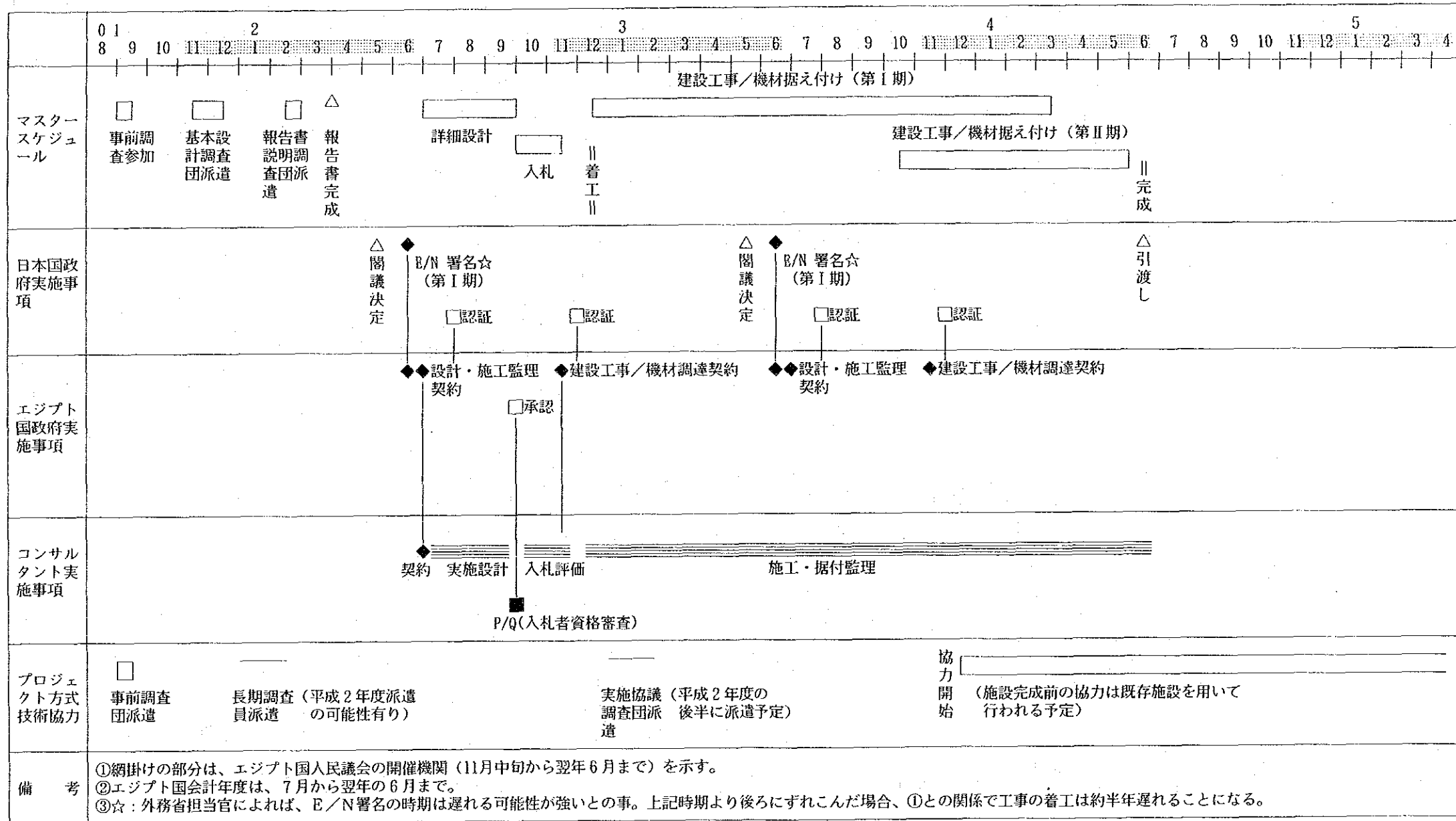
- (1) 国民人口対看護婦数(約120人/10万人)は既に中進国並みの数値に達しているものの、先進諸国(日本の場合、約500人/10万人)と比較すると未だ相当な格差があり、より充実した看護体制を確立するためには今後更に看護婦数の増大に努める必要がある。
- (2) 医学部卒業生数の漸減及び看護学部卒業生数の漸増(1987/88年現在医学部卒業生4,086人対看護学部卒業生 324人)で徐々に医師対学卒看護婦の数的バランスは是正されつつあるが、その比率はなお12:1と大きな開きがあるため、早急に対応を講じる必要がある。
- (3) 近年エジプトでは大型病院の建設ラッシュが続いており、これら病院での指導的立場に立つ学卒看護婦を数多く必要としている。
- (4) エジプトは、アフリカ諸国及びアラブ諸国に対しては技術指導国であるため、エジプト自国のためはもとより、これら周辺諸国のためにもその教育施設を充実する必要がある。
- (5) H I N Cはアレキサンドリア大学とは看護婦養成の教育期間としては双璧であるものの、カイロ大学では付属病院のため既に数年前にやむをえずH I N Cの専用施設を取り壊しており、現在は医学部施設を間借りする状態が続いており、良好な教育環境ではない。

### 3. 本センター設立に係る実施工程案

本計画の実施工程は現在次の通り考える。ただし、無償資金協力については、エジプトではE/N締結には人民議会での承認を必要とされることにより、円滑な施工のためにはその開催時期とのタイミングを逸することがなきよう留意する必要がある。



カイロ大学看護学部施設改修計画に係る実施工程案





## VI. 提 言

### 1. 技術協力

- (1) カイロ大学ならびに保健省は量的、質的な看護マンパワーの増強のため看護教育、看護研究に携わるリーダー及び特殊専門看護婦の養成を意図し、カイロ大学看護学部と保健省看護課が共同してその対策に取り組んでいる。
- (2) このプロジェクトは大学および大学院レベルにおける看護婦リーダー養成を意図した技術協力であり、これまで我が国が実施してきた看護技術協力よりも高いレベルの技術協力である。エジプトの看護教育制度は既に米国など先進諸国と同様な体制を整えており、しかも我が国とは、これまでの看護プロジェクトによって緊密な協力関係が樹立されているという状況をふまえた技術協力である。
- (3) 現在も中近東、アフリカ諸国からの留学生を受入れており、このプロジェクトの実施によって、上記諸国の看護活動にも大きく貢献しうると考えられる。
- (4) 看護マンパワーの増強のためのリーダーの養成には現在のカイロ大学看護学部の校舎、管理棟、寄宿舎の整備は必須であるが、我が国からの援助なくしては、その遂行は難しいと考えられ、この要請に応えることを期待する。
- (5) 無償資金協力において、基本設計調査、計画の段階から、技術協力側（専門家）が参加することによって、両担当の連携が密接なものとなり、その成果もより実りのあるものとなろう。
- (6) カイロ大学小児病院のプロジェクトは4年半にわたり看護専門家が長期滞在し、看護婦の教育訓練ならびに病院の管理、運営その他諸調整にあたり効果をあげた。本プロジェクトも常時カウンターパートに対して援助できる長期専門家の派遣は必須である。
- (7) 技術協力におけるチームリーダーは看護領域における専門家であることが是非とも必要であろう。
- (8) 看護教育に関しては教育サイドと現場サイド双方に技術協力がかかわり、臨床教育を強化していく方式が効果的と考えられる。
- (9) 大量の人材養成を急ぐ場合、臨床教育は相当の効果を上げる。教育病院として予定されている小児病院は年間1,500名前後の実習研修を受入れているが、その他国立病院、ヘルスセンター、ヘルスユニットに対する臨床実習のための看護機器の整備と看護関係者の研修が必要であると思われる。
- (10) エジプトにおける乳児死亡、り病状況、人々の衛生状況、プライマリーヘルスケアの実状さらに高度化される医療活動に対して、今後、益々看護の知識、技術、人格的に質の高い看護婦が要求される。

このプロジェクトは1972-1982エジプト看護教育研究プロジェクト、1980-1988のカイロ

大学小児病院の技術協力、1985-1989のエジプト第3国研修の実績のうえに立って、エジプトの看護婦による、エジプト人のための看護活動の確立に当たって中核をなすプロジェクトであり、またアラブ諸国への影響も大きいと考えられ、この無償資金協力、技術協力をスタートさせる意義は大きい。

## 2. 基本設計調査への提言

本計画の背景、内容、及び維持管理体制等無償援助に関する包括的調査をきめ細かく実施すると同時に、特に下記の諸点については十分な調査を行い本計画の最適規模を策定されたい。

- (1) 目標設定年での目標看護婦総数、対国民人口当りの看護婦数、対医師一人当たりの看護婦数、看護婦総数に占める学卒看護婦数等の各種関連計画数値の把握
- (2) H I N Cにおける過去5か年の入学希望者数と出身地別入学者数、及び各学年での落伍者数
- (3) 過去5か年のH I N C卒業生の就業先
- (4) 教官、事務職員等管理運営体制の計画案の再確認
- (5) 上記(4)に対する予算措置及び教官配置の見通し
- (6) 大学レベル施設における学生一人当たりの最低施設面積等のエジプトでの法的規制の内容
- (7) 現在H I N Cで使用している機材の詳細、及び実習での使用機材内容
- (8) 類似施設（特にアレキサンドリア大学）での看護学部の教育体制、維持管理体制等の調査及び比較検討
- (9) カイロ大学医学部の一部施設の共通使用の可能性調査（今後医学生を漸減させる傾向もあり、施設的には医学部内で余裕が出ると考えられる）



MINUTES OF DISCUSSIONS  
BETWEEN THE JAPANESE PRELIMINARY SURVEY TEAM AND  
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT  
ON THE PROJECT FOR THE HIGH INSTITUTE OF NURSING, CAIRO UNIVERSITY

The Japanese Preliminary Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Ms. Junko Kondo, Professor of Nursing, St. Luke's College of Nursing visited the Arab Republic of Egypt from September 1 to 8, 1989 for the purpose of making a study on the request of technical cooperation and grant aid for the project for the High Institute of Nursing, Cairo University (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in the Arab Republic of Egypt, the Team had a series of discussions and exchanged views with the Egyptian authorities concerned. As a result of the discussions, both sides agreed to record the essential matters referred to in the document attached hereto.

Cairo, September 6, 1989

K. Samra

Prof. Khayri Samra  
Dean,  
Faculty of Medicine  
Cairo University

Junko Kondo

Prof. Junko Kondo,  
Leader,  
Japanese Preliminary Survey Team,  
Japan International Cooperation  
Agency,  
Japan

M. Salama

Prof. Maamoun Salama,  
President,  
Cairo University,  
Arab Republic of Egypt

E-1/4

ATTACHED DOCUMENT

1. Name of the Project

The project for the High Institute of Nursing, Cairo University (IINC)

2. Purpose and objectives of the Project

The purpose of the Project is to upgrade the function of IINC, to bring up highly qualified nurses needed in Egyptian medical services and thus contribute to the promotion of health and welfare in Egypt.

The matters mentioned below will be carried out as the objectives of the Project with the help of Japanese technical cooperation and grant aid.

- 1) Training of teaching staff and nurses in nursing education
- 2) Improvement of teaching methodology, curriculum and materials for nursing education
- 3) Implementation of the concept of Primary Health Care within the whole system of education

3. Technical Cooperation

1) Japanese Technical Cooperation under the Project will be implemented through the dispatch of Japanese experts, acceptance of Egyptian personnel for training in Japan, and provision of equipment in the following fields.

- 1) Nursing Education
- 2) Primary Health Care
- 3) Child Care Nursing
- 4) Maternal Care Nursing
- 5) Educational Media Preparation

2) The duration of the technical cooperation under the Project is expected to be 5 years. The exact date of its commencement will be fixed later.

4. Grant Aid

1) The Egyptian side requested the grant aid for the construction of the facilities and procurement of the proper equipment for the Project with the priority as follows, and the Japanese side confirmed to convey their request to the Japanese Government.

- ① Facilities and equipment for Education Section
- ② Facilities and equipment for Administrative Section
- ③ Facilities and equipment for General Service Section
- ④ Facilities and equipment for Hostel Section

2) The scope of cooperation to be covered by the grant aid will be further studied and clarified by the following Basic Design Study Team

JK

IC. Sama

M. S. S.

E-2

dispatched by JICA after the Japanese Government would confirm the Project as feasible.

3) The Project site is located at the old diploma school and hostel, Cairo University Hospital (Manial), with the total areas of 6,708m<sup>2</sup> as attached in the annex.

4) The Egyptian side understood the system of the grant aid explained by the Team, which includes a principle of the use of a Japanese consultant and a Japanese firm for the execution of the Project.

#### 5. Measures to be taken by the Egyptian side

The Egyptian side will make necessary arrangement to secure the budget and to provide sufficient number of personnel for the smooth implementation of the Project when the Japanese technical cooperation and grant aid would be extended to the Project.

#### 6. Responsible organization of the Egyptian side for preparation and implementation of the Project:

- 1) The President of Cairo University will take overall responsibility for implementation of the Project.
- 2) The Dean of the Faculty of Medicine will be the Chairman of the Coordinating Committee.
- 3) The Director of High Institute of Nursing, as the head of the Project will be responsible for the administrative and managerial matters of the Project.

#### 7. Coordinating Committee

A coordinating committee for the smooth implementation of the Project is expected to be established at the start of the Project in the following composition:

- 1) Chairman: -Dean, Faculty of Medicine, Cairo University
- 2) Member: Egyptian side
  - Director of High Institute of Nursing
  - Director General of Cairo University Hospitals
  
  - Deputy Director of High Institute of NursingJapanese side
  - Team Leader of the Japanese experts
  - Coordinator
  - Japanese experts
  - Other personnel to be dispatched by JICA
  - Resident Representative of JICA Egypt office
- 3) Observers:
  - Representative(s) of the Embassy of Japan

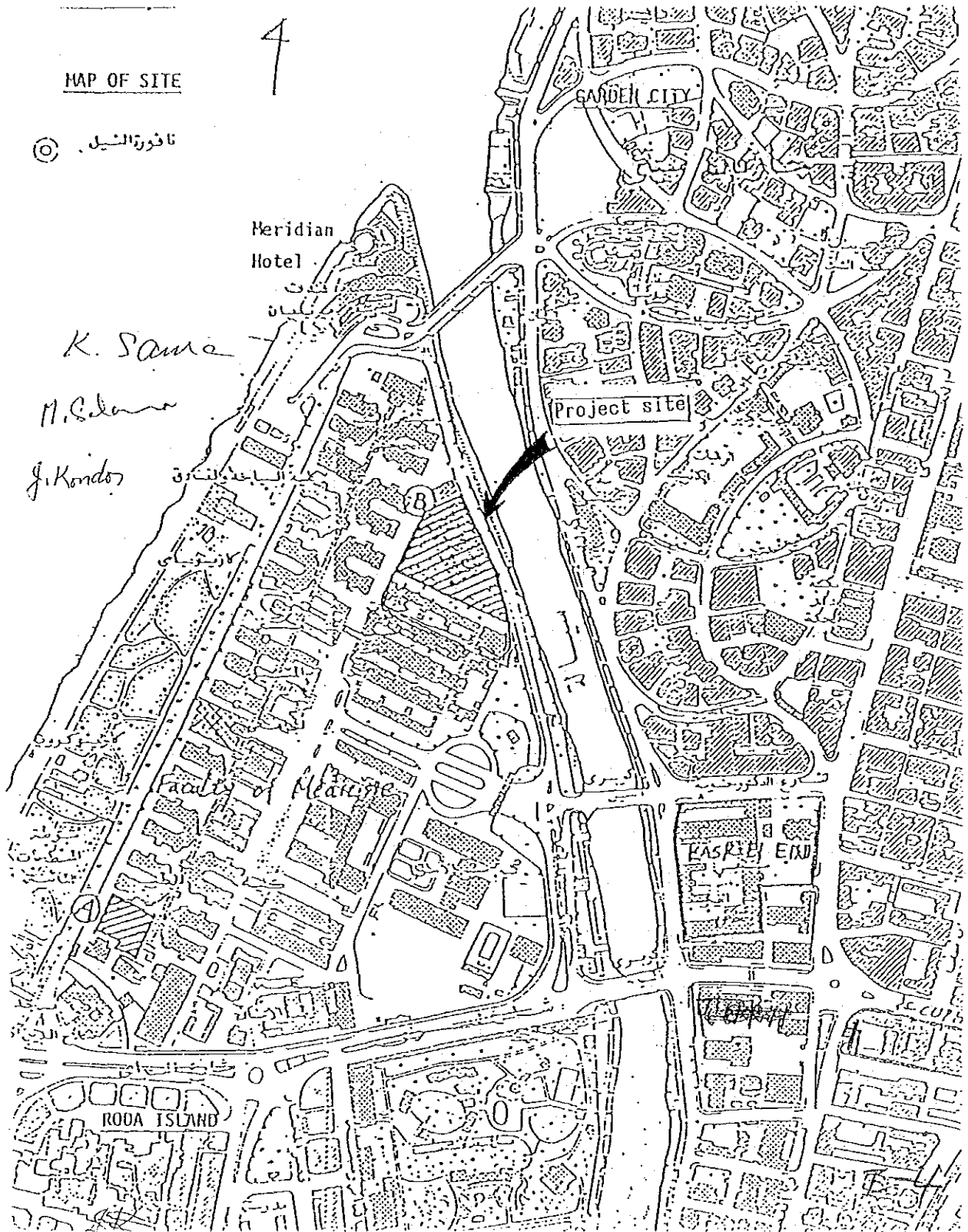
JK

16. 0/0/00

11 0 0

R-3

Annex: Location of the Project site



# 付 属 資 料



**1. Project Proposal**

**on**

**Technical Cooperation for the Nursing Education**

**between Japan and Cairo University**

**October, 1988**

**High Institute of Nursing**

**Cairo University**

## Contents

1. Background	-----	1
2. Objectives of the Project	-----	4
3. Activities of Japanese Technical Cooperation	-----	5
4. Organization of the Project	-----	6
5. Term of Cooperation	-----	8



## 1. Background

The first nursing school was established in 1828, one year after the opening of the first medical school in Abi Zahbal in Egypt. The nursing education at that time was limited to reading, writing, some simple nursing skills and childbirth procedures.

In 1882, some English nurses were employed in this school and the curriculum became stable. The school had programmes which led to a diploma that allowed nurses to practice nursing. After that time, the number of nursing schools were gradually increased and various kinds of nursing schools were established. In 1954, the first High Institute of Nursing was constructed in Alexandria University. Then in 1964, the High Institute of Nursing in Cairo University was established.

In 1972, most of the old nursing schools were cancelled, and a more suitable education system was created. This consisted of the High Institute of Nursing, the Technical Health Institute and the technical secondary school for nursing. The role of the High Institute of Nursing is the most important, in order to supply highly educated nurses in Egypt's medical field.

Recently big hospitals have been completed one after another in Cairo and equipped with various modern medical equipments. Therefore, a lot of well educated nurses who are capable of operating the equipment are urgently required in Egypt and programmes of nursing education should be modified in accordance with the development of such modern medical technology.

At the present time, there are six High Institutes of Nursing joined to the faculty of medicine in various universities in Egypt. Out of these six Institutes, The High Institute of Nursing in Alexandria University is the most substantial.

This is due to a long-term technical assistance from WHO, since its establishment and recent short-term technical cooperation with North Carolina University.

On the other hand, in Cairo University, there was only a 5 year technical cooperation between the Institute and the HOPE Project (An American Organization).

At that time, many American experts had been sent here to teach the students of the High Institute of Nursing.

In 1987, our High Institute of Nursing had to be demolished for the construction of a new Kasr El Ainy teaching hospital in Cairo University. This school was transferred to the temporary building in the campus of the university.

We now have the inconvenience of a lack of enough space of classrooms and laboratories in the school for nursing. Therefore, we have requested to reconstruct the new High Institute of Nursing in Cairo University by Japanese grant aid.

And we now request the integral technical cooperation to be comprehended in the proposal of grant aid.

We strongly request to implement the above mentioned total nursing education project for the purpose of the development of nursing education in Egypt.

In the past, we have had fruitful technical cooperations for nurse training between Japan and Egypt. Dr. Ibrahim Badran, vice president of Cairo University requested such technical cooperation in training of nurses when he visited Japan in September, 1974 at the invitation of Japanese Ministry of Foreign Affairs. In response to his request a Japanese survey team was sent to Egypt in February, 1976 to investigate the necessity of technical cooperation in medical care. This was the first relation in the nursing educational field between Japan and Egypt, and a five year agreement was concluded in 1977 between the Ministry of Health in Egypt and the International Cooperation Organization in Japan. This agreement was for the cooperation in upgrading the educational and training activities for the nurses' leaders in the Public Health field and Community Health Nursing, with the aim of improving the Family Health. This five year agreement of technical cooperation was performed in Roda Center for Nurses Training together with some teaching staff from Cairo University under the management of the Ministry of Health.

The above lengthy cooperative relation started in April, 1978 by Prof. Junko Kondo of Saint Luke's College of Nursing and finished in 1983. Through the above project, the exchange of staff and information has been actively made between Japanese leaders in nursing and Egyptian leading nurses and administrative staff in health care.

On the occasion of the opening of Cairo University Paediatric Hospital donated to Egypt by Japanese grant aid in March, 1983, another technical cooperation was smoothly started following the execution of the above Roda Center Nursing Training Project. This technical cooperation project focuses on the practical training in hospital, and the training of student nurses on the job by Japanese nursing specialists who stay for a long time. Subsequently, the modern system for nursing administration is being introduced. In addition, since 1985, the training course for leading nurses in the third countries in Africa, sponsored by the Ministry of Health and JICA and the individual training course, have been conducted. Now, two nurses from Zambia are being trained in CUPH.

As mentioned above, technical cooperation in nursing between Egypt and Japan has been steadily bringing good results for these ten years. Incidentally, Prof. Junko Kondo and Miss Kyoko Tateyama of St. Luke's College of Nursing met with great success in their attempt to level up the quality of the nurses in Egypt through fruitful Japanese technical cooperation. Cairo University and the Egyptian government were both very grateful for their contribution.

As a next phase, Cairo University has a plan to complete sufficient school buildings with equipment, to improve the situation by a Japanese grant aid. It plans to request another 5 years of serious technical cooperation in nursing in the new school buildings from Saint Luke's College of Nursing. And we hope that this school will become a leading High Institute of Nursing for the Middle East and Africa.

## 2. Objectives of the Project

The purpose of this Project is to reinforce and upgrade the function of the High Institute of Nursing and thus contribute to the promotion of public health and welfare in Egypt.

The main objectives of the Japanese technical cooperation programme during the term of cooperation are:

- (1) This project will help strengthen more than ever bridges of educational, social and cultural ties which were present for a long time between Egypt and Japan.
- (2) Exchange of knowledge and experience in nursing education for the benefit and welfare of Egyptian and Japanese people.
- (3) Consolidation and continuation of medical cooperative relations, achieved through the technical cooperation of Cairo University Pediatric Hospital.
- (4) Improvement of teaching methodology and curriculum for nursing education, including on the job training in hospitals.
- (5) Training of teaching staff and post-graduate nurses in nursing education.
- (6) Training of leading nurses from the third country in Africa under the technical cooperation program of Japan, in cooperation with the Ministry of Health.
- (7) Improvement of school administration with the help of the Japanese experience.
- (8) Strengthening the educational media and supplies for education and training.

### 3. Activities of Japanese Technical Cooperation

Technical Cooperation is expected to be executed by the following manners:

- 1) The following Japanese experts will be dispatched to Egypt for long term.
  - a. Expert in nursing education and clinical nursing (1 person)
  - b. Expert in Primary Health Care (PHC) (1 person)
  - c. Expert in educational media preparation (1 person)

Note: One of the experts will be nominated as Team Leader.

- 2) The following Egyptian trainees will be accepted for technical training in Japan.
  - a. Senior teaching staff (Lecturer) (Nursing education) (1 person)
  - b. " ( " ) (Primary Health Care) (1 person)
  - c. " ( " ) (Paediatric, I.C.U.) (1 person)
  - d. " ( " ) (Obst. & Gynac.) (1 person)

The knowledge and experience acquired by the above personnel from technical training in Japan will be utilized effectively for the implementation of the Project.

- 3) Equipment and other materials will be provided in the Institute and training hospitals.

Workshop in the Institute and hospitals must be maintained well through periodical technical guidance by Japanese engineers.

- 4) Counterparts training programme under tripartite arrangement:

Existing training of the counterpart personnel from the third country in Africa provided actually through the Ministry of Health could be effectively given in conjunction with the High Institute of Nursing.

#### 4. Organization of the Project

Cairo University will bear overall responsibility for the implementation of the Project. The Director of the High Institute of Nursing will be responsible for the administrative and managerial matters of the Project.

The Japanese experts will provide necessary technical guidance and advice to the Egyptian side on matters pertaining to the implementation of the Project.

For the smooth and effective implementation of the Project, the following organization will be taken.

##### 1) Composition of the Committees

###### a. Coordinating Committee

A coordinating committee will meet at least once a year and work to formulate the annual work plan of the Project in line with the Tentative Implementation Schedule and review the overall progress of the Project.

1. Chairman: Dean of Faculty of Medicine, Cairo University
2. Egyptian Side
  - (1) Director of High Institute of Nursing
  - (2) Director General of Cairo University Hospitals
  - (3) Head of Paediatrics, CUPH
  - (4) Deputy Director of the High Institute of Nursing
3. Japanese Side
  - (1) Team Leader of the Japanese experts
  - (2) Other experts
  - (3) Representative of JICA office in Egypt
4. Observers
  - (1) Representative of the Embassy of Japan

###### B. Steering Committee

A steering committee will be formed in order to supplement the activities of the coordinating committee and will coordinate and formulate the detailed implementation plan of the Project and will be held at least once a month for that purpose.

1. Chairman: Director of the High Institute of Nursing
2. Director General of Cairo University Hospitals
3. Director of CUPH
4. Deputy Director of the High Institute of Nursing
5. Representatives of the Japanese side

a. Professor	<u>2</u>	Dr. Eman Mourad, Dr. Cheherezade Ghaz
b. Assistant Professor	<u>4</u>	
c. Lecturers	<u>23</u>	
d. Assistant lecturers	<u>12</u>	
e. Demonstrators	<u>10</u>	
f. Administrator	<u>40</u>	

### 3) Training facilities

a. School (New High Institute of Nursing)

b. Hospitals for training:

(Main)	}	* Manial University Hospital
		- Gynecology Hospital
		- East Hospital
		- West Hospital
(Subsidiary)	}	* Medical Hospital in Kasr El Ainy
		* Abou El Rish Paediatric Hospital
		* New Japanese Paediatric Hospital (305 beds)
		<hr/>
(Near future)	}	* Abbasia Mental Hospital
		* Kerdasa Health Center
		<hr/>
(Near future)	}	* Kasr El Ainy Teaching Hospital (1000 beds)
		* Center for Social Preventive Medicine
		* Cancer Institute (400 beds)

## 5. Term of Cooperation

The technical cooperation will start from the date mentioned on the Record of Discussions (R/D) for five (5) years.

- 1) R/D should be tied one year before the completion of construction of a new High Institute of Nursing by a Japanese grant aid.
- 2) Dispatch of Japanese experts should be started six months before the completion of the above grant aid project.



المشروع المقترح

للتعاون الفني لتعليم التعريف

بين

اليابان و جامعة القاهرة

اكتوبر ١٩٨٨

المعهد العالى للتعريف

جامعة القاهرة



( ١ ) خلفيه عن التمريض فى مصر :-

أنشئت أول مدرسه للتمريض فى مصر عام ١٨٢٨ و ذلك بعد مرور عام واحد من افتتاح أول مدرسه للطب بأبى زعبل ، و فى ذلك كان تعليم التمريض يقتصر على القراءه ، الكتابه ، بعض المهارات التمريضيه البسيطه و اجراءات الولاده .

فى عام ١٨٨٢ عينت مجموعه من الممرضات الانجليزيات و أصبح للتدريب منهج ثابت ، وقد منحت هذه المدرسه دبلوم فى التمريض إتاحت للخريجات ممارسة التمريض . و بعد ذلك زاد عدد مدارس التمريض تدريجيا و أنشئت أنواع مختلفه من مدارس التمريض  
فى عام ١٩٥٤ أنشئ أول معهد عالى للتمريض بجامعة الأسكندريه و بعده و فى عام ١٩٦٤ أنشئ المعهد العالى للتمريض بجامعة القاهره .

فى عام ١٩٧٢ ، ألغيت معظم مدارس التمريض القديمه و استحدثت نظام تعليمى ملائم يتكون معهد التمريض العالى ، المعهد الفنى الصحى ، المدرسه الثانويه الفنيه للتمريض .  
و على ذلك تأتى أهمية الدور الذى يقوم به المعهد العالى للتمريض فى امداد ارحفل الطبي المصرى بممرضات ذات كفاءات تمريضيه عاليه .

الآن أصبحت المستشفيات الكبرى فى القاهره ملينه بالأجهزه الطبيه الحديثه ، و بناء على ذلك مطلوب عدد كبير من الممرضات المتعلمات و القادرات على العمل بهذه الأجهزه فى مصر و لا بد من التعديل فى برامج التمريض التعليميه لتتناسب مع مثل هذا التطور الطبي التكنولوجى .  
الحديث .

فى الوقت الحاضر يوجد ستة معاهد عليا للتمريض ملحقه بكليات الطب بمختلف الجامعات المصريه هذا بالإضافة الى المعهد العالى للتمريض - جامعة الأسكندريه و هو المعهد الأساسى و ذلك يرجع الى المساعده الفنيه طويلة الأجل من منظمة الصحة العالميه منذ انشائها و مسن التعاون الفنى القصير الأجل مع جامعة شمال كارولينا حديثا .

و من الناحيه الأخرى فى جامعة القاهره كان هناك خمس سنوات من التعاون الفنى بين المعهد و مشروع الأمل الأمريكى . فى ذلك الوقت أرسل العديد من الخبراء الأمريكيين للتدريس لطالبات المعهد .

فى سنة ١٩٨٧ هدم المعهد العالى للتمريض بجامعة القاهره لبناء مستشفى قصر العينى التعليمى بجامعة القاهره ، و قد تم نقل المعهد الى مبنى مؤقت داخل حرم الجامعه .  
و نحن الآن نعانى من نقص كبير فى المدرجات و المعامل فى المعهد و لذلك طلبنا اعساده بناء معهد عالى جديد للتمريض فى جامعة القاهره بمساعدة المعونه اليابانيه ، و نحن نطلب أيضا تعاون فنى كامل ليتفق مع اقتراح المعونه السابق ذكره .

و نحن نلجأ بشكوه فى طلب تطبيق مشروع تنظيم التمريض و ذلك لتطوير تعليم التمريض فى مصر .

ففى الماضى كان هناك تعاون فنى مشر لتدريب الممرضه بين اليابان و مصر ، فعندما وجهت وزارة الخارجيه اليابانيه الدعسوه للسيد الاستاذ الدكتور / ابراهيم بدران لزيارة اليابان عام ١٩٧٤ و كان نائب رئيس جامعة القاهره فى ذلك الوقت ، طلب بعض المساعدات الفنيه لتدريب الممرضات و بناء على طلب سيادته أرسل فريق يابانى الى مصر فى فبراير عام ١٩٧٦ لبحث ضرورة التعاون الفنى فى مجال العناية الطبيه ، وكانت هذه أول علاقته بين مصر و اليابان لتعليم التمريض وشملت الخطه الخمسيه عام ١٩٧٧ بين وزارة الصحه فى مصر ومنظمة التعاون الدولى فى اليابان وكان الغرض من هذا التعاون رفع مرتبه الأنشطة التعليميه و التدريبيه لقيادات التمريض فى مجال الصحه العامه و مجال تمريض صحه المجتمع بهدف تحسين صحه الأسره .

هذه الاغايه للخمس سنوات من التعاون الفنى أجريت فى مركز الروضه لتدريب الممرضات بالتعاون مع بعض أعضاء هيئة التدريس بجامعة القاهره و تحت رعاية وزارة الصحه . بدأت هذه العلاقه التعاونيه الطويله فى ابريل ١٩٧٨ بقيادة البروفيسور / جونكو كوندو بكلية القديس لوك للتمريض و انتهت عام ١٩٨٢ ، من خلال التعاون السابق تم تبادل الموظفون و المعلومات بين القيادات اليابانيه فى التمريض و قيادات التمريض فى مصر وكذلك الأعضاء الاداريين بالرعايه السحيه .

عند انتاج مستشفى الأطفال بجامعة القاهره و التى تم انشاؤها بالمعونه اليابانيه فى مارس ١٩٨٢ بدأ تعاون فنى آخر بعد انجاز مشروع التدريب التمريضى السابق و الذى تم فى مركز الروضه ، وقد ركز هذا المشروع على ممارسه التدريب فى المستشفى و تدريب طالبات التمريض على العمل بواسطة خبرات يابانيات فى التمريض و اللاتى مكثن فتره طويله و تباعا لذلك أدخل النظام الحديث لادارة التمريض و ايضا ومنذ عام ١٩٨٥ أقيمت دوره التدريبيه لقيادات التمريض فى دول العالم الثالث تحت رعاية وزارة الصحه و منظمة التعاون الدولى اليابانى كما أقيمت دوره التدريبيه الفرديه ، و يوجد الآن عدد اثنين من الممرضات من دولة زامبيا يتدربن فى مستشفى الأطفال بجامعة القاهره .

وما سبق ذكره حقق التعاون الفنى فى التمريض بين مصر و اليابان نتائج جيده لهذه السنوات العشر . و قد حقق البروفيسور / جونكو كوندو و الأنسه / كوايكو تاتاياما بكلية انديس لوك للتمريض نجاحا عظيما فى محاولتهما لرفع كفاءه الممرضات فى مصر من خلال التعاون الفنى اليابانى المشم ، وتتقدم جامعة القاهره و الحكومه المصريه بالشكر لهما لمشاركتهما فى هذا العمل .

ففى المرحله القادمه ، هناك خطه لجامعة القاهره لتكلمة مبانى المعهد و امداده بالاجهزه اللازمه و ذلك بمساعدة المعونه اليابانيه .

خططت الجامعه لطلب خمس سنوات أخرى من التعاون الفنى الجاد فى التمريض مع كليه القديس لوك للتمريض باليابان .

و نحن أن يكون المعهد الجديد معهدا رائدا فى التمريض العالمى فى الشرق الأوسط و افريقيا .

## ( ٢ ) أهداف المشروع ————— زرع :-

الغرض من هذا المشروع هو تعزيز و رفع وظيفة المعهد العالى للتمريض ومشاركته فنى  
تحتسبن الصحة العامه وتحقيق الرفاهيه فنى مصر .

و هذه هى الأهداف الرئيسيه لبرنامج التعاون الفنى اليابانى :-

- ٠١ تقوية الروابط العلميه و الاجتماعيه و الثقافيه و التى وجدت لوقت طويل بين مصر و اليابان .
- ٠٢ تبادل المعلومات والخبره فى تعليم التمريض من أجل الاستغاده والرفاهيه للمصريين و اليابانيين .
- ٠٣ تقويه واستمرار العلاقات الطبيه و المحققه من خلال التعاون الفنى فنى مستشفى الأطفال بجامعة القاهرة .
- ٠٤ تحسبن طرق التدريس و المناهج لتعليم التمريض و أيضا التدريب العملى فنى المستشفيات .
- ٠٥ تدريب هيئات التدريس و المعرضات الخريجات فى تعليم التمريض .
- ٠٦ تدريب قيادات التمريض من دول العالم الثالث فى افريقيا طبقا لبرنامج التعاون الفنى اليابانى بالتعاون مع وزارة الصحة :
- ٠٧ تحسبن ادارة المعهد بمساعدة الخبره اليابانيه .
- ٠٨ تعزيز الوسائل و الامدادات التعليميه للتعليم و التدريب .

## ( ٣ ) أنشطة التعاون الفنى اليابانى :-

من المتوقع أن ينفذ التعاون الفنى على النحو التالى :-

٠١ الخبراء اليابانيين الذين سوف يرسلوا الى مصر لفترة طويلة الأجل :-

أ . عدد ١ خبير فى التعليم التمريض و التدريب التمريض .

ب . عدد ١ خبير فى الرعاية الصحية الأولية .

ج . عدد ١ خبير فى تحضير الوسائل التعليميه .

( ملحوظه :- أحد هؤلاء الخبراء سوف يعطى لقب القائد ) .

٠٢ الخبراء المصريين الذين سوف يوافق عليهم للتدريب الفنى فى اليابان :-

أ . عدد ١ عضو هيئة تدريس مدرس فى تعليم التمريض .

ب . عدد ١ عضو هيئة تدريس مدرس فى الرعاية الصحية الأولية .

ج . عدد ١ عضو هيئة تدريس مدرس فى الأطفال و العناية المركزه .

د . عدد ١ عضو هيئة تدريس مدرس فى أمراض النساء و التوليد .

سوف تستخدم المعلومات و الخبره المكتسبه لدى الأشخاص السابقين من تدريبهم الفنى

فنى اليابان لتطبيق المشروع .

- ٠٣ الأجهزه اللازمه و الأدوات سوف يتم امداد المعهد و المستشفيات التعليه بها .
- كما سوف تعقد دورات فى كل من المعهد و المستشفيات تحت ارشاد المهندسين اليابانيين .
- ٠٤ برنامج التدريب :-
- يتم اعداد و تقديم برنامج تدريبى لأفراد الفريق المصرى للدول الافريقيه . المشقته بناه على اتفاق ثلاثى بين وزارة الخارجيه ووزارة الصحه و المعهد العالى للتمريض جامعة القاهره .
- ( ٤ ) تنظيم المشروع :-

سوف تتحمل جامعة القاهره المسئوليه الكامله لتطبيق هذا المشروع ، و سوف تكون مديرة المعهد العالى للتمريض مسئوله عن النواحي الاداريه للمشروع ، كما سوف يقوم الخبراء اليابانيون بالارشاد الفنى و تقديم النصيحه للجانب المصرى عن المواد اللازمه لتطبيق المشروع .

و لسيهرولة و كفاءه تطبيق المشروع سوف يتبع النظام التالى :-

#### ( ١ ) أعضاء المجالس

- ٠١ مجلس التنسيق :-
- سوف يعقد هذا المجلس مره على الأقل فى السنه و سيعمل على تكوين خطة عمل سنويه للمشروع فى دائرة العدل التجريبي لجدول التطبيق و مراجعة مدى تقدم المشروع .
- ٠١ الرئيس :- عميد كلية الطب جامعة القاهره .
- ٠٢ الجانب المصرى :-
- مديرة المعهد العالى للتمريض .
- مدير عام مستشفيات جامعة القاهره .
- رئيس مستشفى الأطفال - جامعة القاهره .
- وكيلة المعهد العالى للتمريض .
- ٠٣ الجانب اليابانى :-
- المسئول عن الخبراء اليابانيين .
- خبراء آخريين .
- مندوب من مكتب التعاون الدولى اليابانى فى مصر .
- ٠٤ الملاحظون :-
- مندوب من السفارة اليابانيه .
- ب مجلس الاداره :-

سوف يعقد هذا المجلس مره على الأقل كل شهر ، وسوف يقوم باعداد أنشطة مجلس التنسيق و ترتيب و تنسيق تفاصيل خطة التطبيق للمشروع .

- الرئيس :- مديرة المعهد العالى للتمريض .
- مدير عام مستشفيات جامعة القاهره .
- رئيس مستشفى الأطفال بجامعة القاهره .
- وكيلة المعهد العالى للتمريض .
- مندوبون عن الجانب اليابانى .

( ٢ ) قائمه بالأشخاص المصريين فى المعهد العالى للتمريض ( أعضاء هيئة تدريس و اداريين ) .

عدد ٢	— أستاذ
عدد ٤	— أستاذ مساعد
عدد ٢٣	— مدرسين
عدد ١٢	— مدرسين مساعدين
عدد ١٠	— معيدين
٤٠	— اداريين

( ٣ ) تيسيرات التدريب :-

أ . المعهد ( معهد عال جديد للتمريض ) .

ب . مستشفيات للتدريب :-

- مستشفى المنيل الجامعى .
  - مستشفى النساء .
  - مستشفى شسرق .
  - مستشفى الباطنه بالقصر العينى .
  - مستشفى أبو الريش للاطفال .
  - المستشفى اليابانى الجديد للاطفال
- مستشفيات ثانويه معينه :-
- مستشفى الأمراض العقليه بالعباسيه .
  - المراكز الصحيه .
- مستشفيات سوف تكون موجوده فى المستقبل القريب :-
- مستشفى قصر العينى التعليمى
  - المركز الاجتماعى للطب الوقائى .
  - معهد الأورام الجديد

( ٥ ) فترة التعاون :-

سوف تبدأ فترة التعاون الفنى من بداية التاريخ السابق ذكره فى سجل المناقشات  
للخمس سنوات .

أ . يتم اعداد سجل المناقشات قبل تكملة بناء المعهد الجديد بمساعدة المعونه اليابانيه  
بمسند .

ب . يبدأ ارسال الخبره اليابانيين قبل تكملة مشروع المعونه السابق ذكره بمسند شهور .

2. Project Proposal

on

Grant Aid for the establishment of the High Institute  
of Nursing in Cairo University, A.R.E.

February, 1989

The High Institute of Nursing

Cairo University

*F. S. Ali*



## Contents

1. Nursing Education in Egypt -----	1
1-1. The history of Nursing Education -----	1
1-2. Shortage of well educated nurses -----	4
2. The relation between Japan & Egypt -----	5
in technical cooperation of nursing	
3. The High Institute of Nursing in Cairo University -----	6
3-1. History of HIN -----	6
3-2. The present condition of HIN -----	7
3-3. Necessity of new building for HIN -----	9
3-4. Sections necessary to HIN -----	10
3-5. Main Equipment necessary to HIN -----	12
3-6. Proposed site for HIN -----	14

## 1. Nursing Education in Egypt

### 1-1. The history of Nursing Education in Egypt

The Nursing as a job has long history in Egypt. The first school for Nursing was established in 1828, one year after the opening of the first medical school in Abi Zahbal, and the nursing education was concentrated on reading, writing, some simple nursing skills and childbirth operation. In 1882, some English nurses were employed in this school and the study became stable and the school had programmes which led to the issue of diploma that allowed nurses to practice the nursing job and childbirth operation. This school was named Nurses school, and its site was Al Kasr El Ainy. After that time, the number of Nursing schools had been increasing gradually, and in 1912, several kinds of midwife schools were established. In 1928, the Nurses assistant schools were established, and in 1941, the midwife assistant schools were established. In 1955, the first High Institute of Nursing in Middle East was constructed and the high nursing education was begun in Alexandria University. And in 1964, the High Institute of Nursing in Cairo University was established.

From Table-1, we can see that several nursing schools were practicing the nursing work in the health services, and were the important factor which led to the comprehensive change in the Nursing education in Egypt in 1972.

Table-1: The history of Nursing education in Egypt

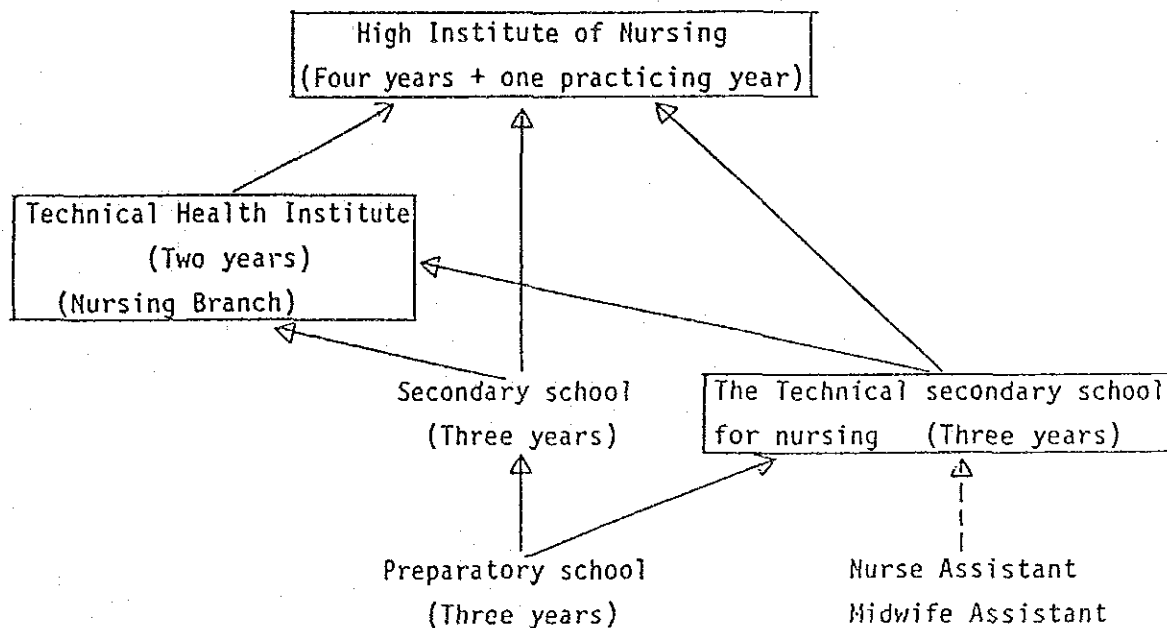
Name of schools	Year of Establishment	
- Abi Zahbal school	1828	
- Nurses school	1882	①
- Midwife schools	1912	②
- Nurses assistant schools	1928	③
- Midwife assistant schools	1941	④
- High Institute of Nursing (Alexandria University)	1955	⑤
- High Institute of Nursing (Cairo University)	1964	
- Technical Health Institute (Nursing branch)	1972	⑥
- The Technical Secondary school for nursing	1972	⑦

The existing four old nursing education groups (①-④ in Table-1), and the most suitable education system which is composed of the High Institute of Nursing, Technical Health Institute & the technical secondary school for nursing (⑤-⑦ in Table-1) was started.

However the present problem in nursing education is that there are very few places for the practical training of nurses and the situation is not suitable for the production of well educated nurse because of the deficiency of school building and equipment. Efforts must be made to remove the deficiency and improve the the situation from now.

Relationship for recent nursing education system in Egypt, is shown in Table-2.

Table-2: Nursing Education system in Egypt



It is classified under the following three educational systems:-

1) The University Nursing Education in the High Institute of Nursing:

- Bachelor degree in Nursing science:  
5 years of university undergraduate education after 12 years of basic education
- Master degree in Nursing science:  
2 to 5 years of post graduate education after the Bachelor degree
- Doctorate degree in Nursing science:  
2 to 6 years of graduate education and research work after the Master degree

These three degrees in Nursing science are provided in the High Institute of Nursing itself.

2) Technical Health Institute:

Two years of technical nursing education after 12 years of basic education leads to diploma of Technical Health Institute.

This diploma is under the supervision of the Ministry of Health.

3) The Technical Secondary school for nursing:

Three years of technical education after 9 years of basic education leads to diploma of the Technical Secondary school for nursing.

This diploma is also under the supervision of the Ministry of Health.

Table-3 : The distribution of the Nursing Institutes and schools in Egypt

Education System	Ministry of Health	Faculty of medicine in the University	Caring institute	Health insurance	Army force	Educative hospital	Free	Total
High Institute of Nursing		6						6
Technical Health Institute (Nursing branch)	2							2
Technical Secondary school for Nursing	115 74.1%	14 9.0%	10 6.5%	8 5.2%	2 1.3%	4 2.6%	2 1.3%	155
Total	117	20	10	8	2	4	2	163

At present nursing education is conducted mostly in University level and secondary school level as shown in Table-3, but the nurses educated in University are increasingly wanted according to the modernization of medicine. In this two main systems of nursing education, the nurses educated in University are small in number and not many nurses are sent to a clinical field and this system has not been working effectively, although the nurses educated in University have been contributing to the improvement of nursing level as a nursing manager in some hospitals. Therefore the government must exert further effort to develop higher nursing education from now.

Recently, there are six High Nursing Institutes joined with faculty of medicine in Alexandria University, Cairo University, Ein Shams University, Tanta University, Asiat University and Zagazig University.

The studying period in those Institutes is four years in addition to one practicing year.

Since 1972, the student with the secondary school's certificate or Diploma of technical secondary school for nursing with result at least 70%, can enter the Institute, and the student who has got Diploma of Technical Health Institute with result 75%, can also enter second year in the Institute.

The graduates can get Bachelor degree in the Nursing science and take permission to practice in the nursing job after they succeed in the examination of the practicing year, and at that time they will be able to study the Master and Doctorate courses in most of those Institutes except the recent one.

Graduates of the High Institutes of Nursing are taking the supervisory and administrative responsibilities of the nursing services in the hospitals (Ministry of Health hospitals, University hospitals, Army hospitals and private hospitals). Other graduates work as educators in both Nursing schools and Institutes and in the continuing education programmes and in the specialized advanced services of bed nursing in specialized unites of treatment like intensive care unites & Kidney dialysis.

In spite of the small number of the graduates of the High Institute of Nursing, they are considered the leaders of nursing education and services in the country. The need for increasing the numbers and improving the qualities of the graduate is very much recognized and become a national demand to improve the health services in Egypt.

The aim of those Institutes is to prepare high qualified nurses, and to provide the opportunity of practicing their job with high efficiency.

#### 1-2. Shortage of well educated nurses in Egypt

It has been said for a long time that the lack of nurse in number and quality is a national problem.

Nurses are increasingly wanted for primary care and high medical care. Especially highly educated nurses, who can advise mothers in health care, are necessary for the improvement of health care of mother and child, and one of the roles of the nurses is to advice for family planning. Nurses are generally underestimated in society, but nurse educated in University is treated as colleague by doctors and estimated fairly in society.

In hospital, too, the chief nurse of a ward plays a role as a trainer if she is a university graduate.

There are six nursing collages in Egypt and total number of annual graduates, several hundreds, is too small.

It may be very important for each university to complete the building and installation of equipment to accept more students for the time being.

## 2. The relation between Japan and Egypt in technical cooperation of nursing

Dr. Ibrahim G Badran, vice president of Cairo University requested technical cooperation in training of nurses when he visited Japan in September, 1974 at the invitation of Japanese Ministry of Foreign Affairs.

In response to his request, a Japanese team was sent between Feb. 8 and Feb. 25, 1976 to investigate the necessity of technical cooperation in medical care.

This was the relation made for the first time between Japan and Egypt in nursing. We are convinced that since Prof. Junko Kondo of Saint Luke's College of Nursing was a member of the investigation team, the lengthy cooperative relation was established.

The project for the training and study in nursing started in April, 1978 with the result of the investigation and finished in 1983. Through the project, the exchange of staff and information has been made actively between Japanese leaders in nursing and Egyptian leading nurses and administrative staff in health care.

At present, the Nursing Training Center is well administered by their counterparts and the periodical lecture is held for the nurses after graduation.

The technical cooperation project for Cairo University Paediatric Hospital, whose building is a grant aid from Japan, was smoothly started following the execution of the above project.

The technical cooperation project for Cairo University Paediatric Hospital focuses on the completion of training in hospital and the training of student nurses on the job by Japanese nursing specialists who stay for a long time and subsequently the modern system for nursing administration is being introduced.

In addition, the training course for leading nurses in the third countries in Africa sponsored by the Ministry of Health and JICA and the individual training course have been conducted since 1985, and now two nurses from Zambia is being trained in Cairo University Paediatric Hospital.

As mentioned above, technical cooperation in nursing between Egypt and Japan has been steadily bringing good result for these ten years.

Cairo University have a plan to complete sufficient school buildings with equipment to improve the situation by a grant aid from Japanese government and continuously a plan to request Saint Luke's College of Nursing, through Japanese government, for serious technical cooperation in nursing of five years in the new school buildings build by the former mentioned grant aid.

### 3. The High Institute of Nursing in Cairo University (HIN)

#### 3-1. History of the High Institute of Nursing in Cairo University

The High Institute of Nursing in Cairo University is the second High Institute of Nursing in Egypt and the first in Cairo, established in 1964 with a beginning class of 7 students, only 5 nurses among them graduated in 1968. Since then about 800 students had been graduated.

From 1975 until 1980, there was a Technical Cooperation between the Institute and the Hope-Project (An American Organization), and many American experts had been sent to teach the students of the High Institute of Nursing here in Egypt. Nobody can deny that the graduates have been working in hospitals and nursing schools, and playing an important role in medical and health care activities in Egypt.

The Institute itself already has a good and complete organization, and it is completely separated from the faculty of medicine, but the dean of the faculty of medicine is the chairman of the Institute Council.

The HIN was located in the campus of the Faculty of Medicine at El Kasr El Ainy since its establishment, but the school building was small and the number of classrooms was not enough.

The school building could not accept more than 100 students each year although the university was requesting more because of the great need for the graduates. Meanwhile the mass production techniques of education of about 100 students in one class does not allow a satisfactory developing of the personality of the students nor no ideal class environment for acquiring knowledge and practicing nursing technique.

In 1987, the building was demolished for the construction of a new university teaching hospital by a French company.

And HIN was transferred from El Kasr El Ainy to the campus where there is the University Main Office and got the temporary school building for the time being. Until now there is no suitable building to accommodate the whole Institute.

### 3-2. The present condition of HIN

At present, in the High Institute of Nursing at Cairo University the student education has been developing as planned by WHO and Egyptian government, and there are more than twenty PhD holders. The teaching organization is also being formed.

However the facilities are in the worst situation now because the school building has been destroyed for the reconstruction of Cairo University Hospital and temporary school buildings are scattered on the campus.

In this situation, the education itself has become difficult.

The present numbers of students, departments & staffs of HIN are as follows:

a) The number of students:

The present number of students are as follows

1st year	<u>125</u>
2nd year	<u>90</u>
3rd year	<u>85</u>
4th year	<u>50</u>
Internship	<u>60</u>
Total	<u>410</u>

But the Institute is aiming to accept about 200 students each year which make a total of 1000 in the near future clinical areas of training in Nursing.

b) Departments & staffs of the Institute

The Institute is divided in the following 7 academic departments.

1. Fundamentals of Nursing
2. Medical & Surgical Nursing
3. MCH, Obstetrics & Gynecology Nursing
4. Paediatric Nursing
5. Public Health Nursing
6. Psychiatric Nursing
7. Internship program



Contents of the staff

1. Professor	<u>2</u>	} Total 90 members
2. Assistant Professor	<u>3</u>	
3. Lecturers	<u>23</u>	
4. Assistant lecturers	<u>12</u>	
5. Demonstrators	<u>10</u>	
6. Administrator	<u>40</u>	

The High Institute of Nursing in Cairo University was set up in 1964 and its history is not long.

Beside only a small numbers of teaching staffs graduated from Alexandria University, almost all the rest of the teaching staffs are graduates of Cairo University.

The number of professors is two, but the number will increase gradually from now.

The qualification of the National University Professor must satisfy the following:

- 1) Having experience of five years as a lecturer after getting PhD
- 2) Having experience of five years as an assistant professor

The following hospitals are used for practicing training & specialized education:

- \* Manial University Hospital
- \* Medical Units Old Kasr-El-Ainy Hospital
- \* Abou El Rish Paediatric Hospital
- \* New Japanese Paediatric Hospital
- \* Cancer Institute Hospital
- \* El Salam International Hospital
- \* Maadi Mental Clinic
- \* Abbasia Mental Hospital
- \* MOH Health Centers (Urban)
- \* Kerdasa Health Center (Rural)

(In near future)

- \* Center for Social Preventive Medicine
- \* Nasser Institute Hospital
- \* Red Crescent Hospital (Ramsis)
- \* Kasr El Ainy Teaching Hospital

### 3-3. Necessity of new building for HIN

The Government of the A.R.E. has been making efforts to improve the health and welfare situation by arranging a medical and nursing network system throughout the country. It is realized that the success of such efforts depends upon the quality of personnel and services rendered.

The medical level of the nurses is low in a hospital in Egypt particularly. That is why foreign nurses with good salary are employed in some private hospitals.

Cairo University has a long glorious history as an educational institute in Egypt and the Middle East, and the High Institute of Nursing (HIN) affiliated to its school of medicine has been the center of nursing education, training and research since 1964.

The school building of HIN was originally an old building located in the campus of the Faculty of Medicine at Kasr El Ainy, but it was too small to admit sufficient number of students.

Recently the number of students in HIN was tending upwards admitting foreign students from Arabian countries and African countries.

It was impossible to give good nursing education in such a poor school building. However, in 1987, the building was already demolished and the land is going to be included in a large project to build a 1000-bed University hospital. Hence, new building of the High Institute of Nursing is needed in the area of Cairo University as soon as possible.

In Cairo, big hospitals have been completed one after another. Ain-Shams University Hospital, Army Hospital, Insurance Hospital, Al Salam International Hospital, Misr International Hospital, Arab Contractor Hospital and Cairo University Paediatric Hospital have already been completed, and Nasser Institute Hospital, Kasr El Ainy Hospital, Cancer Institute Hospital and Pyramid Hospital are under construction.

These newly completed hospitals are equipped with various modern medical equipment and a lot of well educated nurses capable of operating the equipment are required. Therefore HIN desires to construct new building to increase its capacity of receiving more numbers of student for the next generation and to increase its high level of nursing services for the society.

The building will be operated with newer education methods in order to make the University joined with the social requirements.

### 3-4. Sections necessary to HIN

The building for HIN will consist of Education Section, Administration Section, General Service Section and Hostel Section.

Each Section accommodates the following spaces:

(1) Education Section:	(Number of Room)	(Floor Area)
- Auditorium (One is Audio-Visual Aids)	(2)	760
- Meeting Room	(2)	200
- Classrooms (50 students)	(14)	1,050
- Classrooms (100 students)	(2)	300
- Classrooms (30 students)	(5)	250
- Small classrooms	(14)	280
- Laboratory	(3)	360
- Nursing laboratory	(1)	160
- Language laboratory	(1)	60
- Library	(1)	250
- Printing & Copy Room	(1)	50
- Dark Room	(1)	20
- Control Room	(1)	20
- Archives Room	(1)	30
- Janitor's room	(2)	60
- Workshop	(1)	100
- Others (corridor, staircase etc.)		1,150
Education Section Total Area		5,100 m <sup>2</sup>

### (2) Administration Section:

- Headmistress office	(1)	70
- Deputy offices	(2)	80
- Specialized nursing sections	(7)	875
- Combined rooms	(3)	70
- Administration of Headmistress		105
- Supervision for the education affairs		100

	(Number of Room)	(Floor Area)
- Students care administration		100
- Supervision of the high studies		130
- Financial affairs		60
- Storage		290
- Administrative affairs supervision		190
- Others (corridor, staircase etc.)		530
Administration Section Total Area		2,600 m <sup>2</sup>
(3) General Service Section:		
- Rest room for teacher	(1)	80
- Rest room for students	(1)	80
- Coffee shop	(1)	120
- Changing room	(1)	80
- Rest room for visitors		50
- Multi purpose hall		1,300
- Primary Health Care Unit		200
- Laundry		80
- Workshop for parking		50
- Praying place		60
- Others (corridor, staircase etc.)		600
General Service Section Total Area		2,700 m <sup>2</sup>
(4) Hostel Section:		
- Dormitory (300 beds)		4,800
- Nursery (30 babies)		400
- Guest house (20 beds)		300
Hostel Section Total Area		5,500 m <sup>2</sup>
(5) Total building floor area		
- Education Section:	5,100 m <sup>2</sup>	} 15,900 m <sup>2</sup> (about 16,000 m <sup>2</sup> )
- Administration Section:	2,600 m <sup>2</sup>	
- General Service Section:	2,700 m <sup>2</sup>	
- Hostel Section:	5,500 m <sup>2</sup>	

### 3-5. Main Equipment necessary to HIN

#### 1. Office

- 1) Typewriter
- 2) Electric typewriter
- 3) Electric calculator
- 4) Plain paper copier
- 5) Stencil machine
- 6) Stencil scanner
- 7) Copy machine
- 8) Transparent maker

#### 2. Nursing Laboratory

- 1) Fowler's bed
- 2) Bedside table
- 3) Bedside chair
- 4) Sterilizer
- 5) Stretcher
- 6) Sphygmomanometer
- 7) Stethoscope
- 8) Oxygen tent
- 9) S.S.E. set
- 10) Speculum
- 11) Douch set
- 12) Undine
- 13) Doll for bathing, adult
- 14) Doll for bathing, infant
- 15) Pediatric bed
- 16) Overtable
- 17) Simon's bed
- 18) Obstetric manikin
- 19) Equipment for nursing care

#### 3. Anatomy and Physiotomy Laboratory

- 1) CLA Training dummy
- 2) Anatomical chart in color
- 3) Sculptured skeleton
- 4) Muscular attachments
- 5) Skull with removable vertex etc.
- 6) Left section of head
- 7) Human ear, eye, arm, leg
- 8) Brain section
- 9) Flexible heart
- 10) Respiratory organ
- 11) Foetal doll
- 12) Human development set
- 13) Individual vertebra
- 14) Human pregnancy set

#### 4. Physics Laboratory

- 1) High-form triple beam balance
- 2) Vernier calipers
- 3) Standard pressure guage
- 4) Spectrometer prism

#### 5. Biology Laboratory

- 1) Binocular microscope
- 2) Compound microscope with 4 objectives
- 3) Microscope projector

#### 6. Micro Parasitology Laboratory

- 1) Hot air oven
- 2) Autoclave

7. Chemistry Laboratory

- 1) Chemical chart
- 2) Triple beam balance
- 3) Centrifuge
- 4) PH meter
- 5) Periodic table
- 6) Thermometer

8. Audio-Visual Aids Room

- 1) Color video taperecorder
- 2) Video Editing Machine
- 3) Video Control Console
- 4) Audio Control Console
- 5) 20" color monitor TV
- 6) TV camera portable
- 7) 5C-2V coaxial cable 40m x 10
- 8) 35mm slide projector
- 9) Synchronization cassette recorder
- 10) 8mm sound movie projector
- 11) 16mm optical magnetic sound projector
- 12) Sound filmstrip projector
- 13) Screen, 70" x 70" stand type
- 14) Overhead projector
- 15) Amplifier
- 16) Speaker
- 17) Microphone
- 18) Lighting Equipment for Studio
- 19) Equipment in Dark room

9. Dormitory

- 1) TV set
- 2) Wash basin
- 3) Refrigerator
- 4) Bed

10. Kitchen

- 1) Cabinet
- 2) Freezing box
- 3) Refrigerator
- 4) Stove
- 5) Electric kettle

### 3-6. Proposed site for HIN

There were originally two sites proposed for new building of HIN in the campus of the Faculty of Medicine. (See ① & ② in the attached map.)

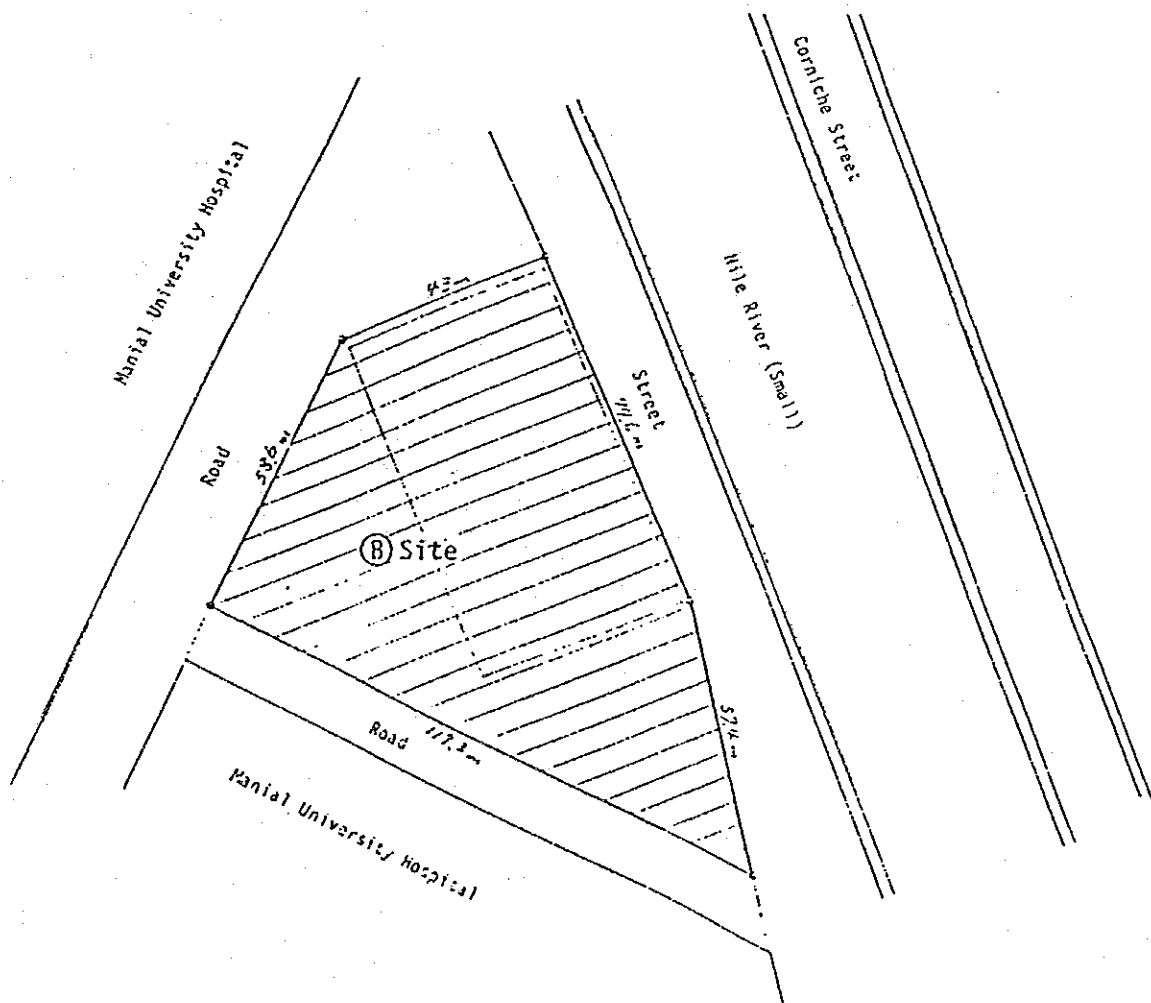
Cairo University finally decided to propose ② site (bigger one) after consideration of importance of this project.

The site is located near Meridian Hotel and has the total area of 6,708 m<sup>2</sup>.

There is the existing outworn dormitory building with 5 stories in the site, however, Cairo University will commence to demolish nurses dormitory soon and complete to level the site before Japanese Grant will begin.

This ② site has many merits in comparison with ① site as pointed out below:

- 1) Construction of enough facilities including dormitory is possible because of its big area.
- 2) Location of the site is very convenient to the University Hospitals & the Faculty of Medicine.
- 3) Circumstances around the site is a first-class.



MAP OF SITE

© تانورة الشيل

